

令和4年度(2022)

# 教育課程表

神戸大学医学部保健学科

# 目 次

①令和4年度学年暦	-----	1
②交通機関の運休、気象警報の場合における授業、 学期末試験の休講措置取扱い	-----	3
I 1年次に関する内容		
①授業科目の履修等	-----	6
②令和4年度入学者用 教育課程表(授業科目配当表)1年次用	-----	12
II 2年次以上に関する内容		
①令和4年度入学者用 教育課程表(授業科目配当表)1年次用～4年次用	-----	28
令和4年度入学者用 履修体系表	-----	36
令和4年度入学者用 カリキュラム・マップ	-----	40
III 全学共通授業科目に関する内容		
①全学共通授業科目の基本事項	-----	50
②全学共通授業科目に関する通知・窓口	-----	53
③令和4年度前期第1クォーター・第2クォーター全学共通授業科目の 履修について(1年生向け)	-----	55
④全般的な注意事項	-----	60
⑤全学共通授業科目の理念	-----	63
⑥全学共通授業科目におけるGPAの取扱いについて	-----	67
⑦科目ナンバリングの導入について	-----	71

# 令和4(2022)年度学年暦(1年次)

神戸大学医学部保健学科

前 期								後 期										
月	火	水	木	金	土	日		月	火	水	木	金	土	日				
2022年			31	1	2	3	学部新入生健康診断(4/6)					30	1	2	Q3・後期授業開始(10/3)			
4	4	5	6	7	8	9	10	新入生履修ガイダンス(4/8:3限)	10	3	4	5	6	7	8	9		
	11	12	13	14	15	16	17	英語外部試験(4/9)		10	11	12	13	14	15	16	名谷祭(10/8・9)	
	18	19	20	21	22	23	24	Q1・前期授業開始(4/11)		17	18	19	20	21	22	23	Q3・Q4履修登録期間(9/27~10/17)	
	25	26	27	28	29	30	1	Q1・Q2履修登録期間(4/4~4/22)		24	25	26	27	28	29	30	Q3履修取消期間(10/18~10/24)	
5	2	3	4	5	6	7	8	Q1履修取消期間(4/25~5/1)	11	31	1	2	3	4	5	6	社会人入試・「志」入試実施(11/5)	
	9	10	11	12	13	14	15	Q2基礎教養科目・総合教養科目抽選登録期間(5/6~5/12)		7	8	9	10	11	12	13	六甲祭(日程未定)	
	16	17	18	19	20	21	22	2次抽選(5/17), 3次抽選(5/18)		14	15	16	17	18	19	20	11/22 授業予備日	
	23	24	25	26	27	28	29	本学創立記念日(5/15)		21	22	23	24	25	26	27	Q3定期試験期間(補講授業含む)	
6	30	31	1	2	3	4	5	Q1定期試験期間(補講授業含む)	12	28	29	30	1	2	3	4	(11/25~12/1六甲キャンパス, 12/2予備日)	
	6	7	8	9	10	11	12	(6/3~6/9六甲キャンパス)		5	6	7	8	9	10	11	Q4授業開始(12/5)	
	13	14	15	16	17	18	19	Q2授業開始(6/13)		12	13	14	15	16	17	18	Q4履修取消期間(12/19~12/25)	
	20	21	22	23	24	25	26	Q2履修取消期間(6/27~7/3)		19	20	21	22	23	24	25		
7	27	28	29	30	1	2	3		2023年	2	3	4	5	6	7	8	大学入学共通テスト準備(1/13午後休講)	
	4	5	6	7	8	9	10			9	10	11	12	13	14	15	大学入学共通テスト実施(1/14・15)	
	11	12	13	14	15	16	17			16	17	18	19	20	21	22	Q4定期試験・後期定期試験期間(補講授業含む)	
	18	19	20	21	22	23	24	Q2定期試験・前期定期試験期間(補講授業含む)		23	24	25	26	27	28	29	(2/3~2/9六甲キャンパス)	
8	25	26	27	28	29	30	31	(8/2~8/8六甲キャンパス)	1	30	31	1	2	3	4	5	(2/3・2/10名谷キャンパス)	
	1	2	3	4	5	6	7	(8/5名谷キャンパス)		2	6	7	8	9	10	11	12	個別学力検査(2/25前期日程)
	8	9	10	11	12	13	14	オープンキャンパス(8/9・10)			13	14	15	16	17	18	19	※入試準備のため2/24午後は立入禁止
	15	16	17	18	19	20	21				20	21	22	23	24	25	26	再試験期間
22	23	24	25	26	27	28	再試験期間	27	28		1	2	3	4	5	(2/13~2/17名谷キャンパス)		
9	29	30	31	1	2	3	4	(8/18~8/31名谷キャンパス)	3	6	7	8	9	10	11	12	(3/1・3/2六甲キャンパス)	
	5	6	7	8	9	10	11	(9/1・9/2六甲キャンパス)		13	14	15	16	17	18	19	個別学力検査(3/12後期日程)	
	12	13	14	15	16	17	18	Q1・Q2・前期成績発表(9/8)		20	21	22	23	24	25	26	※入試準備のため3/10午後は立入禁止	
	19	20	21	22	23	24	25	Q3・Q4基礎教養科目・総合教養科目抽選登録期間(9/9~9/12)		27	28	29	30	31			Q3・Q4・後期成績発表(3/14)	
26	27	28	29	30			2次抽選, 3次抽選あり(日付未定)											
授業回数(Q1)	8	8	8	8				授業回数(Q3)	8	8	8	8						
授業回数(Q2)	8	8	8	8				授業回数(Q4)	8	8	8	8						
授業回数(セスター)					17			授業回数(セスター)					17				※金曜日午後16回(1/13午後休講のため)	
Q1授業期間(六甲キャンパス)	4月11日(月)~6月10日(金)							Q3授業期間(六甲キャンパス)	10月3日(月)~12月2日(金)									
前期授業期間(名谷キャンパス)	4月8日(金)~8月5日(金)							後期授業期間(名谷キャンパス)	10月3日(月)~2月10日(金)									
入学式	4月5日(火)午前							名谷祭	10月8日(土)・10月9日(日)									
学部新入生ガイダンス	4月5日(火)午後							B型肝炎ワクチン接種①	10月1日(土)									
新入生履修ガイダンス	4月8日(金)13:00~14:40 (3限の講義なし)							B型肝炎ワクチン接種②	11月5日(土)									
血液検査	4月22日(金)13:40~15:40 (3・4限の講義なし)							Q3定期試験期間(六甲キャンパス)	11月25日(金)~12月1日(木) ※12月2日(金)は予備日									
Q1定期試験期間(六甲キャンパス)	6月3日(金)~6月9日(木) ※6月10日(金)は予備日							Q4授業期間(六甲キャンパス)	12月5日(月)~2月10日(金) ※2月10日(金)は予備日									
☐ 金曜日の振替授業日	5月2日(月)							冬季休業期間	12月28日(水)~1月6日(金)									
Q2授業期間(六甲キャンパス)	6月13日(月)~8月9日(火) ※8月9日(火)は予備日							☐ 金曜日の振替授業日	1月10日(火)									
Q2定期試験期間(六甲キャンパス)	8月2日(火)~8月8日(月)							Q4定期試験期間(六甲キャンパス)	2月3日(金)~2月9日(木) ※2月10日(金)は予備日									
前期定期試験期間(名谷キャンパス)	8月5日(金)							後期定期試験期間(名谷キャンパス)	2月3日(金)・2月10日(金)									
オープンキャンパス	8月9日(火)・8月10日(水)							再試験期間(名谷キャンパス)	2月13日(月)~2月17日(金)									
夏季休業期間	8月12日(金)~9月30日(金)							再試験期間(六甲キャンパス)	3月1日(水)・3月2日(木) ※3月3日(金)は予備日									
再試験期間(名谷キャンパス)	8月18日(木)~8月31日(水)							B型肝炎ワクチン接種③	3月4日(土)									
再試験期間(六甲キャンパス)	9月1日(木)・9月2日(金) ※9月5日(月)は予備日																	

注1. 網掛けは休業日等を示す 2. 二重線枠は定期試験期間 3. 破線枠は再試験期間 4. 授業科目の試験については、別途うばーネット・HPで指示

# 令和4(2022)年度学年暦 (2年次以上)

神戸大学医学部保健学科

前 期								後 期							
月\曜	月	火	水	木	金	土	日	月\曜	月	火	水	木	金	土	日
2022年  4				31	1	2	3	10					30	1	2
	4	5	6	7	8	9	10		3	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16	17		10	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23	24		17	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	30	1		24	25	26	27	28	29	30
5	2	3	4	5	6	7	8	11	31	1	2	3	4	5	6
	9	10	11	12	13	14	15		7	8	9	10	11	12	13
	16	17	18	19	20	21	22		14	15	16	17	18	19	20
	23	24	25	26	27	28	29		21	22	23	24	25	26	27
6	30	31	1	2	3	4	5	12	28	29	30	1	2	3	4
	6	7	8	9	10	11	12		5	6	7	8	9	10	11
	13	14	15	16	17	18	19		12	13	14	15	16	17	18
20	21	22	23	24	25	26	19		20	21	22	23	24	25	
7	27	28	29	30	1	2	3	2023年 1	2	3	4	5	6	7	8
	4	5	6	7	8	9	10		9	10	11	12	13	14	15
	11	12	13	14	15	16	17		16	17	18	19	20	21	22
	18	19	20	21	22	23	24		23	24	25	26	27	28	29
8	25	26	27	28	29	30	31	2	30	31	1	2	3	4	5
	1	2	3	4	5	6	7		6	7	8	9	10	11	12
	8	9	10	11	12	13	14		13	14	15	16	17	18	19
	15	16	17	18	19	20	21		20	21	22	23	24	25	26
9	22	23	24	25	26	27	28	3	27	28	1	2	3	4	5
	29	30	31	1	2	3	4		6	7	8	9	10	11	12
	5	6	7	8	9	10	11		13	14	15	16	17	18	19
	12	13	14	15	16	17	18		20	21	22	23	24	25	26
	19	20	21	22	23	24	25		27	28	29	30	31		
26	27	28	29	30											
授業回数(名谷)	16	16	17	16	17			授業回数(名谷)	16	16	16	16	17	※金曜日午後16回(1/13午後休講のため)	
前期授業期間	4月6日(水)～8月8日(月)							後期授業期間	10月3日(月)～2月10日(金)						
2～4年次生ガイダンス	4月4日(月) 学年・専攻によって時間帯別(掲示します)							名谷祭	10月8日(土)・10月9日(日)						
血液検査(2年)	4月22日(金) 10:30～12:30 ※2年次は2限講義なし							冬季休業期間	12月27日(火)～1月6日(金)						
健康診断(2～4年)	5月11日(水)～12日(木) ※日時は学年・専攻別に指定(別途お知らせします)							後期定期試験期間	1月30日(月)～2月10日(金)						
前期定期試験期間	7月26日(火)～8月8日(月)							後期再試験期間	2月13日(月)～2月17日(金)						
オープンキャンパス	8月9日(火)・8月10日(水)							卒業式	3月24日(金)						
夏季休業期間	8月12日(金)～9月30日(金)														
前期再試験期間	8月18日(木)～8月31日(水)														
								注1. 網掛けは休業日等を示す							
								2. 二重線枠は定期試験期間							
								3. 破線枠は再試験期間							
								4. 授業科目の試験については、別途うりぼーネット・HPで指示							

## 交通機関の運休、気象警報の発表、避難指示・緊急安全確保の発令時における授業、定期試験の休講措置について

交通機関の運休、気象警報の発表、避難指示・緊急安全確保の発令時の対応については、下記のとおり取り扱うものとする。

### 記

#### 1. 交通機関の運休の場合

##### < 1 > 六甲台地区において開講する授業

次の(1)又は(2)のいずれかに該当する場合、当日のその後に開始する授業(定期試験を含む)を休講とする。

(1) JR西日本(神戸線(大阪駅～姫路駅))、阪急電鉄(神戸本線(大阪梅田駅～神戸三宮駅))及び阪神電気鉄道(阪神本線(大阪梅田駅～元町駅))のうち2線が同時に運休した場合

(2) 神戸市バス16系統及び36系統が同時に運休した場合

ただし、次の場合は授業を実施する。

- ① 午前6時までに、交通機関が運行した場合は、1時限目の授業から実施する。
- ② 午前10時までに、交通機関が運行した場合は、午後1時以降に開始する授業から実施する。
- ③ 午後2時までに、交通機関が運行した場合は、午後5時以降に開始する授業から実施する。

##### < 2 > 名谷地区において開講する授業

次の(1)又は(2)のいずれかに該当する場合、当日のその後に開始する授業(定期試験を含む)を休講とする。

(1) JR西日本(神戸線(大阪駅～姫路駅))、阪急電鉄(神戸本線(大阪梅田駅～神戸三宮駅))及び阪神電気鉄道(阪神本線(大阪梅田駅～元町駅))が全て同時に運休した場合

(2) 神戸市営地下鉄(西神・山手線(谷上駅～西神中央駅))が運休した場合

ただし、次の場合は授業を実施する。

- ① 午前6時までに、交通機関が運行した場合は、1時限目の授業から実施する。
- ② 午前10時までに、交通機関が運行した場合は、午後1時以降に開始する授業から実施する。
- ③ 午後2時までに、交通機関が運行した場合は、午後5時以降に開始する授業から実施する。

注) 看護学専攻統合看護実習の夜間実習については、正午までに交通機関が運行した場合は実施する。

#### 2. 気象警報の発表の場合

神戸市に警報(ただし暴風、大雪、暴風雪に限る)又は特別警報が発表された場合、当日のその後に開始する授業(定期試験を含む)を休講とする。

なお、気象警報が広域に発表された場合は、神戸市が含まれている場合にこの取扱いを適用する。

ただし、次の場合は授業を実施する。

- (1) 午前6時までに、気象警報が解除された場合は、1時限目の授業から実施する。
- (2) 午前10時までに、気象警報が解除された場合は、午後1時以降に開始する授業から実施する。
- (3) 午後2時までに、気象警報が解除された場合は、午後5時以降に開始する授業から実施する。

### 3. 避難指示・緊急安全確保の発令の場合

各地区（六甲台地区、楠地区、名谷地区、深江地区）の所在地に市町村等から避難指示・緊急安全確保が発令された場合、当該地区で当日のその後に開始する全ての授業（定期試験を含む）を休講とする。ただし、午前6時までに避難指示・緊急安全確保が解除された場合は、1時限目の授業から実施する。

### 4. 休講の周知方法

交通機関の運休、気象警報の発表、避難指示・緊急安全確保の発令が事前に予想される場合は、学内掲示板、うりぼーネット、各学部及び各研究科のホームページ等により、あらかじめ周知するものとする。

- (注) 1. 交通機関の運休とは、事故、気象現象、地震、その他の理由により鉄道や道路が遮断されて交通機関が運行休止になり、通学が困難な場合をいう。
2. 気象警報は、「神戸地方気象台が発表する警報」によるものとする。
  3. 気象警報の発表及び解除、避難指示・緊急安全確保の発令及び解除の確認は、テレビ・ラジオ・インターネット等の報道による。
  4. 演習又は研究指導等の少人数の授業については、授業を行うことがある。ただし、避難指示・緊急安全確保の発令の場合は除く。
  5. このほか、必要な事項は各学部又は各研究科において別に定める。
  6. この申合せは、令和3年5月20日から適用する。

# 1年次に関する内容

# 授 業 科 目 の 履 修 等

## 1. 授業科目の区分及び履修

保健学科の授業科目は医学部規則に定められており、シラバスについては教務システムにて確認してください。

なお、授業科目の区分は次のとおりです。

### ①基礎教養科目（全学共通授業科目）

基礎教養科目は、次の3区分で構成された授業科目からなります。

#### ◎ 区分

・人文系      ・社会科学系      ・自然科学系

看護学専攻及び検査技術科学専攻の学生は、自然科学系の「物理学A・B」及び「化学A・B・C・D」は卒業要件には算入しません。

理学療法学専攻及び作業療法学専攻の学生は、自然科学系の「物理学A・B」は卒業要件には算入しません。

### ②総合教養科目（全学共通授業科目）

総合教養科目は、次の7区分で構成された授業科目からなります。

#### ◎ 区分

(1) 多文化理解	(4) ESD	(7) データサイエンス
(2) 自然界の成り立ち	(5) キャリア科目	
(3) グローバルイシュー	(6) 神戸学	

保健学科学生は、(2)自然界の成り立ちの「生命科学A・B」は卒業要件には算入しません。

### ③外国語科目（全学共通授業科目）

外国語科目は、外国語第Ⅰ（英語）及び外国語第Ⅱ（ドイツ語、フランス語、中国語及びロシア語の内1つの言語）を履修しなければなりません。

なお、外国語科目は、定められたクラスの授業を履修してください。

### ④情報科目（全学共通授業科目）

情報科目は、情報基礎、情報科学1及び情報科学2からなります。保健学科学生は、情報基礎（第1クォーター）が必修です。（なお、情報科学1及び情報科学2は選択となります。）

### ⑤健康・スポーツ科学（全学共通授業科目）

保健学科学生は、健康・スポーツ科学実習基礎が必修です。

### ⑥高度教養科目

異なる専門分野の学生が、協働して多様な課題を学ぶことで、学生の自主性、コミュニケーション能力、チームワークなどの社会的能力、課題解決能力を養成することを目的とします。

### ⑦専門科目

専門科目は、「共通専門基礎科目」、「共通特論」、「その他の必修科目及び選択科目」、「卒業研究」からなり、必要な修得単位数については「履修要件」及び「教育課程表（授業科目配当表）」を参照してください。

### ⑧その他必要と認める科目

その他必要と認める科目は、「総合科目Ⅰ・Ⅱ」（全学共通授業科目）および「保健医療英語」、「グローバルヘルスフィールド演習」です。なお、これらの科目は卒業要件には算入しません。



＜履修要件(卒業要件)＞ 令和4年度入学者に適用(神戸大学医学部規則別表第2抜粋)

学生は、次の区分に従って、所定の単位を修得しなければならない。

授業科目の区分		修得単位数				
		看護学	検査技術学	理学療法学	作業療法学	
基礎 教養 科目	人文系	6	6	6	6	
	社会科学系					
	自然科学系					
総合 教養 科目	(1)多文化理解	6	6	6	6	
	(2)自然界の成り立ち					
	(3)グローバル 이슈					
	(4)ESD					
	(5)キャリア科目					
	(6)神戸学					
	(7)データサイエンス					
外国 語 科目	※英語	Academic English LiteracyA1, A2, B1, B2	2	2	2	2
		Academic English CommunicationA1, A2, B1, B2	2	2	2	2
	ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語 から1外国語	4	4	4	4	
情報 科目	情報基礎 情報科学1 情報科学2	1~3	1~3	1~3	1~3	
健康・ スポーツ 科学	健康・スポーツ科学実習基礎	1	1	1	1	
その他必要と認める科目		0	0	0	0	
高度教養科目		4	4	4	4	
専門 科目	共通専門基礎科目	6~8	8~10	8~10	6~8	
	共通特論	4	4	4	4	
	その他の必修及び選択科目	90	101~102	83~85	88	
	卒業研究	2	4	4	4	
合計		130	145	127	130	

※Academic English Literacy B1,B2(選抜上級クラス),Academic English Communication B1,B2(選抜上級クラス)を修得した場合は、それぞれAcademic English Literacy B1,B2,Academic English Communication B1,B2に代えることができる。

# 鶴甲第1キャンパスにおける履修要件等（看護学専攻）

## 基礎教養科目

人文系，社会科学系，自然科学系 以上3区分の授業科目の中から6単位

※神戸大学全学共通授業科目履修規則に記載されている授業科目のうち，生命科学系の全科目，自然科学系の「物理学A・B」及び「化学A・B・C・D」は卒業要件には算入しません。

※データサイエンス基礎学は必修。

## 総合教養科目

- (1) 多文化理解，(2) 自然界の成り立ち，(3) グローバルイシュー，(4) ESD，  
(5) キャリア科目，(6) 神戸学，(7) データサイエンス

以上7区分の授業科目の中から6単位

※神戸大学全学共通授業科目履修規則に記載されている授業科目のうち，(2) 自然界の成り立ちの「生命科学A・B」は卒業要件には算入しません。

## 外国語科目

外国語第I 英語4単位 ( Academic English Literacy A1・A2・B1・B2, Academic English Communication A1・A2・B1・B2 を履修。ただし, Academic English Literacy B1,B2 (選抜上級クラス), Academic English Communication B1,B2 (選抜上級クラス) を修得した場合は, それぞれ Academic English Literacy B1,B2, Academic English Communication B1,B2 に代えることができる。)

外国語第II ドイツ語, フランス語, 中国語, ロシア語のうちから1つの言語を選択 (各語学の A1・A2・A3・A4・B1・B2・B3・B4 を履修) 4単位

## 情報科目

情報基礎, 情報科学1・2 1～3単位 (情報基礎は必修)

## 健康・スポーツ科学

健康・スポーツ科学実習基礎 1単位

## 共通専門基礎科目

線形代数入門1・2, 微分積分入門1・2, 物理学入門, 力学基礎1・2, 基礎有機化学1・2, 生物学概論 B1・B2, 生物学各論 C1・C2 の各科目からの選択必修 (6～8単位)

## 共通特論

現代医療と生命倫理 1単位

初期体験実習 1単位

## 履修上の注意点

1. 共通専門基礎科目のうち，生物学は履修するのが望ましい。なお，「情報科目」と「共通専門基礎科目」のうちから必修科目の情報基礎を含み9単位以上修得しなければならない。
2. 上記の授業科目に関する履修単位 (32単位以上) をすべて修得することが，2年次への進級条件となります。
3. 将来的に養護教諭免許状 (一種又は二種) の取得を目指す者は，できる限り「情報科学1・2」を履修して下さい。
4. 「物理学入門」は，共通専門基礎科目の物理学講義科目 (力学基礎1・2, 電磁気学基礎1・2等) を履修予定の学生が，高校での科目「物理基礎」を学修していない，あるいは高校での物理の修得・理解が不十分である場合に，それを補う目的で設定された科目である。これに該当する場合には，「物理学入門」の履修をすることができる (各科目の内容はシラバスを参照のこと)。「物理学入門」単独での履修は，科目の趣旨から推奨しない。

## 鶴甲第1キャンパスにおける履修要件等（検査技術科学専攻）

### 基礎教養科目

人文系，社会科学系，自然科学系 以上3区分の授業科目の中から6単位

※神戸大学全学共通授業科目履修規則に記載されている授業科目のうち，生命科学系の全科目，自然科学系の「物理学A・B」及び「化学A・B・C・D」は卒業要件には算入しません。

### 総合教養科目

- (1) 多文化理解，(2) 自然界の成り立ち，(3) グローバルイシュー，(4) ESD，  
(5) キャリア科目，(6) 神戸学，(7) データサイエンス

以上7区分の授業科目の中から6単位

※神戸大学全学共通授業科目履修規則に記載されている授業科目のうち，(2) 自然界の成り立ちの「生命科学A・B」は卒業要件には算入しません。

### 外国語科目

外国語第I 英語4単位 (Academic English Literacy A1・A2・B1・B2, Academic English Communication A1・A2・B1・B2 を履修。ただし，Academic English Literacy B1,B2 (選抜上級クラス),Academic English Communication B1,B2 (選抜上級クラス) を修得した場合は，それぞれ Academic English Literacy B1,B2, Academic English Communication B1,B2 に代えることができる。)

外国語第II ドイツ語，フランス語，中国語，ロシア語のうちから1つの言語を選択 (各語学のA1・A2・A3・A4・B1・B2・B3・B4 を履修) 4単位

### 情報科目

情報基礎，情報科学1・2 1～3単位 (情報基礎は必修)

### 健康・スポーツ科学

健康・スポーツ科学実習基礎 1単位

### 共通専門基礎科目

線形代数入門1・2，微分積分入門1・2，物理学入門，力学基礎1・2，電磁気学基礎1・2，物理学実験基礎，物理学実験，基礎物理化学1・2，基礎有機化学1・2，生物学概論B1・B2，生物学各論C1・C2 の各科目からの選択必修 (8～10単位)。

### 共通特論

現代医療と生命倫理 1単位

初期体験実習 1単位

### 履修上の注意点

1. 共通専門基礎科目のうち，物理学，化学，生物学の3分野は履修するのが望ましい。なお，「情報科目」と「共通専門基礎科目」のうちから必修科目の情報基礎を含み11単位以上修得しなければならない。
2. 上記の授業科目に関する履修単位 (34単位以上) をすべて修得することが，2年次への進級条件となります。
3. 「物理学入門」は，共通専門基礎科目の物理学講義科目 (力学基礎1・2，電磁気学基礎1・2等) を履修予定の学生が，高校での科目「物理基礎」を学修していない，あるいは高校での物理の修得・理解が不十分である場合に，それを補う目的で設定された科目である。これに該当する場合に，「物理学入門」の履修をすることができる (各科目の内容はシラバスを参照のこと)。「物理学入門」単独での履修は，科目の趣旨から推奨しない。

# 鶴甲第1キャンパスにおける履修要件等（理学療法学専攻）

## 基礎教養科目

人文系，社会科学系，自然科学系 以上3区分の授業科目の中から6単位

※神戸大学全学共通授業科目履修規則に記載されている授業科目のうち，生命科学系の全科目，自然科学系の「物理学A・B」は卒業要件には算入しません。

## 総合教養科目

- (1) 多文化理解，(2) 自然界の成り立ち，(3) グローバルイシュー，(4) ESD，  
(5) キャリア科目，(6) 神戸学，(7) データサイエンス

以上7区分の授業科目の中から6単位

※神戸大学全学共通授業科目履修規則に記載されている授業科目のうち，(2) 自然界の成り立ちの「生命科学A・B」は卒業要件には算入しません。

## 外国語科目

外国語第I 英語4単位 (Academic English Literacy A1・A2・B1・B2, Academic English Communication A1・A2・B1・B2) を履修。ただし，Academic English Literacy B1,B2 (選抜上級クラス), Academic English Communication B1,B2 (選抜上級クラス) を修得した場合は，それぞれ Academic English Literacy B1,B2, Academic English Communication B1,B2 に代えることができる。

外国語第II ドイツ語，フランス語，中国語，ロシア語のうちから1つの言語を選択 (各語学のA1・A2・A3・A4・B1・B2・B3・B4) を履修) 4単位

## 情報科目

情報基礎，情報科学1・2 1～3単位 (情報基礎は必修)

## 健康・スポーツ科学

健康・スポーツ科学実習基礎 1単位

## 共通専門基礎科目

線形代数入門1・2，微分積分入門1・2，物理学入門，力学基礎1・2，電磁気学基礎1・2，物理学実験，生物学概論B1・B2，生物学各論C1・C2 の各科目からの選択必修 (8～10単位) ただし，物理学実験は必修扱いとするので，必ず履修すること。

## 共通特論

現代医療と生命倫理 1単位

初期体験実習 1単位

## 履修上の注意点

1. 「情報科目」と「共通専門基礎科目」のうちから必修科目の情報基礎を含み11単位以上修得しなければならない。
2. 上記の授業科目に関する履修単位 (34単位以上) をすべて修得することが，2年次への進級条件となります。
3. 「物理学入門」は，共通専門基礎科目の物理学講義科目 (力学基礎1・2，電磁気学基礎1・2等) を履修予定の学生が，高校での科目「物理基礎」を学修していない，あるいは高校での物理の修得・理解が不十分である場合に，それを補う目的で設定された科目である。これに該当する場合に，「物理学入門」の履修をすることができる (各科目の内容はシラバスを参照のこと)。「物理学入門」単独での履修は，科目の趣旨から推奨しない。

# 鶴甲第1キャンパスにおける履修要件等（作業療法学専攻）

## 基礎教養科目

人文系，社会科学系，自然科学系 以上3区分の授業科目の中から6単位

※神戸大学全学共通授業科目履修規則に記載されている授業科目のうち，生命科学系の全科目，自然科学系の「物理学A・B」は卒業要件には算入しません。

## 総合教養科目

- (1) 多文化理解，(2) 自然界の成り立ち，(3) グローバルイシュー，(4) ESD，  
(5) キャリア科目，(6) 神戸学，(7) データサイエンス

以上7区分の授業科目の中から6単位

※神戸大学全学共通授業科目履修規則に記載されている授業科目のうち，(2) 自然界の成り立ちの「生命科学A・B」は卒業要件には算入しません。

## 外国語科目

外国語第I 英語4単位 (Academic English Literacy A1・A2・B1・B2, Academic English Communication A1・A2・B1・B2 を履修。ただし，Academic English Literacy B1,B2 (選抜上級クラス),Academic English Communication B1,B2 (選抜上級クラス) を修得した場合は，それぞれ Academic English Literacy B1,B2,Academic English Communication B1,B2 に代えることができる。)

外国語第II ドイツ語，フランス語，中国語，ロシア語のうちから1つの言語を選択 (各語学のA1・A2・A3・A4・B1・B2・B3・B4 を履修) 4単位

## 情報科目

情報基礎，情報科学1・2 1～3単位 (情報基礎は必修)

## 健康・スポーツ科学

健康・スポーツ科学実習基礎 1単位

## 共通専門基礎科目

線形代数入門1・2，微分積分入門1・2，物理学入門，力学基礎1・2，電磁気学基礎1・2，物理学実験基礎，物理学実験，生物学概論B1・B2，生物学各論C1・C2 の各科目からの選択必修 (6～8単位)

## 共通特論

現代医療と生命倫理 1単位

初期体験実習 1単位

## 履修上の注意点

1. 「情報科目」と「共通専門基礎科目」のうちから必修科目の情報基礎を含み9単位以上修得しなければならない。
2. 力学基礎1，力学基礎2，電磁気学基礎1，電磁気学基礎2，物理学実験を履修する学生で，高校で物理を学んでいない学生は，物理学入門を履修することが望ましい。
3. 上記の授業科目に関する履修単位 (32単位以上) をすべて修得することが，2年次への進級条件となります。
4. 「物理学入門」は，共通専門基礎科目の物理学講義科目 (力学基礎1・2，電磁気学基礎1・2等) を履修予定の学生が，高校での科目「物理基礎」を学修していない，あるいは高校での物理の修得・理解が不十分である場合に，それを補う目的で設定された科目である。これに該当する場合には，「物理学入門」の履修をすることができる (各科目の内容はシラバスを参照のこと)。「物理学入門」単独での履修は，科目の趣旨から推奨しない。

看護学専攻教育課程表（令和4年度入学者に適用・1年次）

授業科目			単位数	必修 選択 の別	卒業 要件	配当年次・学期								授業 形態					
						1年次		2年次		3年次		4年次							
						第1 Q	第2 Q	第3 Q	第4 Q	前期	後期	前期	後期		前期	後期			
授業科目の区分等																			
全 学 目 共 通	基 礎 教 養 科 目	人 文 系	哲学	哲学	1	△										講義			
			心理学	心理学A	1	△											講義		
				心理学B	1	△											講義		
			論理学	論理学	1	△											講義		
			教育学	教育学A	1	△												講義	
		教育学B		1	△												講義		
		倫理学	倫理学	1	△												講義		
		法学	法学A	1	△													講義	
			法学B	1	△													講義	
		社会科学系	政治学	政治学A	1	△												講義	
				政治学B	1	△												講義	
			経営学	1	△													講義	
			経済学	経済学A	1	△													講義
		経済学B		1	△													講義	
	社会学	社会学	1	△													講義		
	教育社会学	教育社会学	1	△													講義		
	地理学	地理学	1	△													講義		
	自然科学系	数学	数学A	1	△													講義	
			数学B	1	△													講義	
			数学C	1	△													講義	
			数学D	1	△													講義	
		惑星学	惑星学C	1	△													講義	
			惑星学D	1	△													講義	
		情報科学	情報学A	1	△													講義	
	情報学B		1	△													講義		
			データサイエンス基礎学	1	○												講義		
	授 業 科 目 総 合 教 養 科 目	(1)多文化理解	教育と人間形成	教育と人間形成	1	△												講義	
文学			文学A	1	△													講義	
			文学B	1	△														講義
言語科学			言語科学A	1	△														講義
			言語科学B	1	△														講義
芸術と文化			芸術と文化A	1	△														講義
			芸術と文化B	1	△														講義
日本史			日本史A	1	△														講義
			日本史B	1	△														講義
東洋史			東洋史A	1	△														講義
			東洋史B	1	△														講義
アジア史			アジア史A	1	△														講義
			アジア史B	1	△														講義
西洋史			西洋史A	1	△														講義
			西洋史B	1	△														講義
考古学			考古学A	1	△														講義
			考古学B	1	△														講義
芸術史			芸術史A	1	△														講義
			芸術史B	1	△														講義
美術史			美術史A	1	△														講義
	美術史B	1	△														講義		
科学史	科学史A	1	△														講義		
	科学史B	1	△														講義		

授 業 科 目	単位数	必修 選択 の別	卒業 要件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態			
				1 年 次				2 年 次		3 年 次			4 年 次		
				第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期	
(1) 多文化理解	社会思想史	社会思想史	1	△											講義
	文化人類学	文化人類学	1	△											講義
	現代社会論	現代社会論A	1	△											講義
		現代社会論B	1	△											講義
	越境する文化	越境する文化	1	△											講義
	生活環境と技術	生活環境と技術	1	△											講義
カタチの文化学	カタチの文化学	1	△											講義	
(2) 自然界の成り立ち	科学技術と倫理	科学技術と倫理	1	△											講義
	現代物理学が描く世界	現代物理学が描く世界	1	△											講義
	身近な物理法則	身近な物理法則	1	△											講義
	カタチの自然学	カタチの自然学A	1	△											講義
		カタチの自然学B	1	△											講義
	ものづくりと科学技術	ものづくりと科学技術A	1	△											講義
		ものづくりと科学技術B	1	△											講義
	生物資源と農業	生物資源と農業A	1	△											講義
		生物資源と農業B	1	△											講義
		生物資源と農業C	1	△											講義
生物資源と農業D		1	△											講義	
環境学入門	環境学入門A	1	△											講義	
	環境学入門B	1	△											講義	
社会と人権	社会と人権A	1	△											講義	
	社会と人権B	1	△											講義	
男女共同参画とジェンダー	男女共同参画とジェンダーA	1	△											講義	
	男女共同参画とジェンダーB	1	△											講義	
グローバルリーダーシップ育成基礎演習	グローバルリーダーシップ育成基礎演習	2	△											講義	
EU基礎論	EU基礎論	1	△											講義	
(3) グローバルイシュー	国際協力の現状と課題	国際協力の現状と課題A	1	△										講義	
	国際協力の現状と課題B	1	△											講義	
政治と社会	政治と社会	1	△											講義	
社会生活と法	社会生活と法	1	△											講義	
国家と法	国家と法	1	△											講義	
現代の経済	現代の経済A	1	△											講義	
	現代の経済B	1	△											講義	
経済社会の発展	経済社会の発展	1	△											講義	
地球史における生物の変遷	地球史における生物の変遷	1	△											講義	
生物の環境適応	生物の環境適応	1	△											講義	
人間活動と地球生態系	人間活動と地球生態系	1	△											講義	
食と健康	食と健康A	1	△											講義	
	食と健康B	1	△											講義	
資源・材料とエネルギー	資源・材料とエネルギーA	1	△											講義	
	資源・材料とエネルギーB	1	△											講義	

授 業 科 目	単位数	必修 選択 の別	卒業 要件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態		
				1 年 次				2 年 次		3 年 次			4 年 次	
				第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期
総 合 教 養 科 目 (4) ESD (5) キャリア科目 (6) 神戸学 (7) データサイエンス 外国語科目	ESD基礎	ESD基礎 (持続可能な社会づくり1)	1	△										講義
	ESD論	ESD論 (持続可能な社会づくり2) A	1	△										講義
		ESD論 (持続可能な社会づくり2) B	1	△										講義
	ESD生涯学習論	ESD生涯学習論A	1	△										講義
		ESD生涯学習論B	1	△										講義
	ESDボランティア論	ESDボランティア論	1	△										講義
	企業社会論	企業社会論A	1	△										講義
		企業社会論B	1	△										講義
	職業と学び	職業と学び-キャリアデザインを考えるA	1	△										講義
		職業と学び-キャリアデザインを考えるB	1	△										講義
	社会基礎学 (グローバル人材に不可欠な教養)	社会基礎学 (グローバル人材に不可欠な教養)	2	△										講義
	ボランティアと社会貢献活動	ボランティアと社会貢献活動A	1	△										講義
		ボランティアと社会貢献活動B	1	△										講義
	グローバルチャレンジ実習	グローバルチャレンジ実習	1又は2	△										講義
	神戸大学史	神戸大学史A	1	△										講義
		神戸大学史B	1	△										講義
	阪神・淡路大震災	阪神・淡路大震災と都市の安全	1	△										講義
	地域連携	ひょうご神戸学	1	△										講義
		地域社会形成基礎論	1	△										講義
		日本酒学入門	1	△										講義
	海への誘い	海への誘い	2	△										講義
瀬戸内海学入門	瀬戸内海学入門	2	△										講義	
データサイエンス入門	データサイエンス入門	1	△										講義	
データサイエンス概論	データサイエンス概論A	1	△										講義	
	データサイエンス概論B	1	△										講義	
データサイエンス基礎演習	データサイエンス基礎演習	1	△										演習	
外国語第I	Academic English Literacy A1		0.5	○										演習
	Academic English Literacy A2		0.5	○										演習
	Academic English Literacy B1		0.5	△										演習
	Academic English Literacy B2		0.5	△										演習
	Academic English Literacy B1(選抜上級クラス)		0.5	△										演習
	Academic English Literacy B2(選抜上級クラス)		0.5	△										演習
	Academic English Communication A1		0.5	○										演習
	Academic English Communication A2		0.5	○										演習
	Academic English Communication B1		0.5	△										演習
	Academic English Communication B2		0.5	△										演習
	Academic English Communication B1(選抜上級クラス)		0.5	△										演習
	Academic English Communication B2(選抜上級クラス)		0.5	△										演習
外国語第II	ドイツ語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△	ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語のうち1言語選択計4単位										演習
	フランス語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△											演習
	中国語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△											演習
	ロシア語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△											演習



授 業 科 目		単位数	必修 選択 の別	卒業 要件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態				
					1年次				2年次		3年次			4年次			
					第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期		
情報科目	情報基礎	1	○	情報基礎は 必修 1～3	○										演習		
	情報科学1	1	△				○									講義	
	情報科学2	1	△					○								講義	
	健康・ス ポーツ科学	健康・スポーツ科学実習基礎	1	○	1単位必修	○										実習	
	その他 の科目	総合科目Ⅰ		—												講義	
総合科目Ⅱ			—												講義		
専 門 科 目	共通 専門 基礎 科目	線形代数入門1	1	△	6～8 単位 必修			○								講義	
		線形代数入門2	1	△					○								講義
		微分積分入門1	1	△		○											講義
		微分積分入門2	1	△			○										講義
		物理学入門	1	△		○											講義
		力学基礎1	1	△		○											講義
		力学基礎2	1	△			○										講義
		基礎有機化学1	1	△				○									講義
		基礎有機化学2	1	△					○								講義
		生物学概論B1	1	△		○											講義
		生物学概論B2	1	△			○										講義
		生物学各論C1	1	△				○									講義
		生物学各論C2	1	△					○								講義
	共通特論	現代医療と生命倫理	1	○	4 単位 必修	○										講義	
		初期体験実習	1	○		○										実習	
		保健学初年次セミナー	1	○		○										講義	
		I PW概論	1	○		○										講義	
必修 その他 科目	看護学概論	2	○	3 単位 必修		○									講義		
	身体のしくみと働きⅠ	1	○			○									講義		

(備考) 「必修・選択の別」欄の○は必修科目を、△は選択必修科目を示す。  
 その他の科目「総合科目Ⅰ」「総合科目Ⅱ」の単位数はその都度定める。

検査技術科学学専攻教育課程表（令和4年度入学者に適用・1年次）

授 業 科 目			単 位 数	必修 選択 の別	卒業 要件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態					
						1年次		2年次		3年次		4年次							
						第1 Q	第2 Q	第3 Q	第4 Q	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期			
授業科目の区分等																			
全 学 科 目	基 礎 教 養 科 目	人 文 系	哲学	哲学	1	△										講義			
			心理学	心理学A	1	△											講義		
				心理学B	1	△											講義		
			論理学	論理学	1	△											講義		
			教育学	教育学A	1	△												講義	
		教育学B		1	△												講義		
		倫理学	倫理学	1	△												講義		
		社 会 科 学 系	法 学	法学A	1	△												講義	
				法学B	1	△												講義	
			政 治 学	政治学A	1	△													講義
				政治学B	1	△													講義
			経 済 学	経済学A	1	△													講義
				経済学B	1	△													講義
			経営学A	1	△													講義	
			社会学	社会学	1	△													講義
	教育社会学	教育社会学	1	△													講義		
	地理学	地理学	1	△													講義		
	自 然 科 学 系	数 学	数学A	1	△													講義	
			数学B	1	△													講義	
			数学C	1	△													講義	
			数学D	1	△													講義	
		惑 星 学	惑星学C	1	△														講義
			惑星学D	1	△														講義
		情 報 科 学	情報学A	1	△														講義
			情報学B	1	△														講義
	データサイエンス基礎学	1	△															講義	
	授 業 科 目	総 合 教 養 科 目  (1)多文化理解	教育と人間形成	教育と人間形成	1	△												講義	
文 学			文学A	1	△													講義	
			文学B	1	△														講義
言 語 科 学			言語科学A	1	△														講義
			言語科学B	1	△														講義
芸 術 と 文 化			芸術と文化A	1	△														講義
			芸術と文化B	1	△														講義
日 本 史			日本史A	1	△														講義
			日本史B	1	△														講義
東 洋 史			東洋史A	1	△														講義
			東洋史B	1	△														講義
ア ジ ア 史			アジア史A	1	△														講義
			アジア史B	1	△														講義
西 洋 史			西洋史A	1	△														講義
			西洋史B	1	△														講義
考 古 学			考古学A	1	△														講義
			考古学B	1	△														講義
芸 術 史			芸術史A	1	△														講義
			芸術史B	1	△														講義
美 術 史			美術史A	1	△														講義
	美術史B	1	△														講義		
科 学 史	科学史A	1	△														講義		
	科学史B	1	△														講義		
社会思想史	社会思想史	1	△														講義		
文化人類学	文化人類学	1	△														講義		
6科目 合計6単位																			
6科目 合計6単位																			

授 業 科 目	単 位 数	必修 選択 の別	卒業 要件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態			
				1 年 次				2 年 次		3 年 次			4 年 次		
				第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期	
(1) 多文化理解	現代社会論	現代社会論A	1	△											講義
		現代社会論B	1	△											講義
	越境する文化	越境する文化	1	△											講義
	生活環境と技術	生活環境と技術	1	△											講義
(2) 自然界の成り立ち	カタチの文化学	カタチの文化学	1	△											講義
	科学技術と倫理	科学技術と倫理	1	△											講義
	現代物理学が描く世界	現代物理学が描く世界	1	△											講義
	身近な物理法則	身近な物理法則	1	△											講義
	カタチの自然学	カタチの自然学A	1	△											講義
		カタチの自然学B	1	△											講義
	ものづくりと科学技術	ものづくりと科学技術A	1	△											講義
		ものづくりと科学技術B	1	△											講義
	生物資源と農業	生物資源と農業A	1	△											講義
		生物資源と農業B	1	△											講義
		生物資源と農業C	1	△											講義
		生物資源と農業D	1	△											講義
環境学入門	環境学入門A	1	△											講義	
	環境学入門B	1	△											講義	
社会と人権	社会と人権A	1	△											講義	
	社会と人権B	1	△											講義	
男女共同参画とジェンダー	男女共同参画とジェンダーA	1	△											講義	
	男女共同参画とジェンダーB	1	△											講義	
グローバルリーダーシップ育成基礎演習	グローバルリーダーシップ育成基礎演習	2	△											講義	
(3) グローバルライシユ	EU基礎論	EU基礎論	1	△											講義
	国際協力の現状と課題	国際協力の現状と課題A	1	△											講義
		国際協力の現状と課題B	1	△											講義
	政治と社会	政治と社会	1	△											講義
	社会生活と法	社会生活と法	1	△											講義
	国家と法	国家と法	1	△											講義
	現代の経済	現代の経済A	1	△											講義
		現代の経済B	1	△											講義
	経済社会の発展	経済社会の発展	1	△											講義
	地球史における生物の変遷	地球史における生物の変遷	1	△											講義
	生物の環境適応	生物の環境適応	1	△											講義
	人間活動と地球生態系	人間活動と地球生態系	1	△											講義
食と健康	食と健康A	1	△											講義	
	食と健康B	1	△											講義	
資源・材料とエネルギー	資源・材料とエネルギーA	1	△											講義	
	資源・材料とエネルギーB	1	△											講義	
(4) ESD	ESD基礎	ESD基礎 (持続可能な社会づくり1)	1	△											講義
	ESD論	ESD論 (持続可能な社会づくり2) A	1	△											講義
		ESD論 (持続可能な社会づくり2) B	1	△											講義
	ESD生涯学習論	ESD生涯学習論A	1	△											講義
		ESD生涯学習論B	1	△											講義
	ESDボランティア論	ESDボランティア論	1	△											講義

授 業 科 目	単 位 数	必修 選択 の別	卒業 要件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態												
				1 年 次				2 年 次		3 年 次			4 年 次											
				第 1 学 期	第 2 学 期	第 3 学 期	第 4 学 期	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期										
全 学 共 通 授 業 科 目	(5) キャリア科目	企業社会論	企業社会論A	1	△																講義			
		企業社会論	企業社会論B	1	△																	講義		
		職業と学び	職業と学び-キャリアデザインを考えるA	1	△																		講義	
			職業と学び-キャリアデザインを考えるB	1	△																		講義	
		社会基礎学 (グローバル人材に不可欠な教養)	社会基礎学 (グローバル人材に不可欠な教養)	2	△																		講義	
		ボランティアと社会貢献活動	ボランティアと社会貢献活動A	1	△																			講義
			ボランティアと社会貢献活動B	1	△																			講義
	グローバルチャレンジ実習	グローバルチャレンジ実習	1又は2	△																		講義		
	(6) 神戸学	神戸大学史	神戸大学史A	1	△																		講義	
		神戸大学史	神戸大学史B	1	△																		講義	
		地域連携	阪神・淡路大震災	阪神・淡路大震災と都市の安全	1	△																		講義
			ひょうご神戸学	地域社会形成基礎論	1	△																		講義
			日本酒学入門	日本酒学入門	1	△																		講義
		海への誘い	海への誘い	2	△																		講義	
	瀬戸内海学入門	瀬戸内海学入門	2	△																		講義		
	(7) データサイエンス	データサイエンス入門	データサイエンス入門	1	△																		講義	
		データサイエンス概論	データサイエンス概論A	1	△																		講義	
			データサイエンス概論B	1	△																		講義	
	データサイエンス基礎演習	データサイエンス基礎演習	1	△																		演習		
	外国語科目	外国語第Ⅰ	Academic English Literacy A1	0.5	○	4 単位必修																	演習	
			Academic English Literacy A2	0.5	○																			
Academic English Literacy B1			0.5	△																				演習
Academic English Literacy B2			0.5	△																				演習
Academic English Literacy B1(選抜上級クラス)			0.5	△																				演習
Academic English Literacy B2(選抜上級クラス)			0.5	△																				演習
Academic English Communication A1			0.5	○																				演習
Academic English Communication A2			0.5	○																				演習
Academic English Communication B1			0.5	△																				演習
Academic English Communication B2			0.5	△																				演習
Academic English Communication B1(選抜上級クラス)		0.5	△																				演習	
Academic English Communication B2(選抜上級クラス)		0.5	△																				演習	
外国語第Ⅱ		ドイツ語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△			ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語の内1言語選択計4単位																	演習
		フランス語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△																				演習
	中国語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△																			演習		
	ロシア語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△																			演習		
情報科目	情報基礎	1	○		情報基礎は必修1~3	○																演習		
	情報科学1	1	△				○															講義		
	情報科学2	1	△					○														講義		
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学実習基礎	1	○	1単位必修		○																実習		
その他の科目	総合科目Ⅰ		—																			講義		
	総合科目Ⅱ		—																			講義		
専 門 科 目	共通専門基礎科目	線形代数入門 1	1	△	8~10 単位必修		○															講義		
		線形代数入門 2	1	△					○														講義	
		微分積分入門 1	1	△			○																講義	
		微分積分入門 2	1	△				○																講義
		物理学入門	1	△			○																	講義
		力学基礎 1	1	△			○																	講義
		力学基礎 2	1	△				○																講義
		電磁気学基礎 1	1	△					○															講義
		電磁気学基礎 2	1	△						○														講義
		物理学実験基礎	1	△			○																	講義
		物理学実験	2	△			○	○																実験
		基礎物理化学 1	1	△			○																	講義
		基礎物理化学 2	1	△				○																講義
		基礎有機化学 1	1	△					○															講義
		基礎有機化学 2	1	△						○														講義
		生物学概論 B 1	1	△			○																	講義
		生物学概論 B 2	1	△				○																講義
		生物学各論 C 1	1	△					○															講義
生物学各論 C 2	1	△					○														講義			

授 業 科 目		単 位 数	必修 選 択 の 別	卒 業 要 件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態				
					1 年 次				2 年 次		3 年 次			4 年 次			
					第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期		
専 門 科 目	共通特論	現代医療と生命倫理	1	○	4 単 位 必 修	○									講義		
		初期体験実習	1	○		○										実習	
		保健学初年次セミナー	1	○		○											講義
		I P W 概 論	1	○		○											講義
	必 修 の 他 科 目	生理学 I	2	○	7 単 位 必 修	○		○								講義	
		臨床検査概論	1	○		○											講義
		解剖学 I	2	○				○									講義
		生化学 II	2	○				○									講義

(備考) 「必修・選択の別」欄の○は必修科目を、△は選択必修科目を示す。  
その他の科目「総合科目Ⅰ」「総合科目Ⅱ」の単位数はその都度定める。

理学療法学専攻教育課程表（令和4年度入学者に適用・1年次）

授 業 科 目			単 位 数	必修 選択 の別	卒業 要件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態					
						1 年 次				2 年 次		3 年 次			4 年 次				
						第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期			
授業科目の区分等																			
全 学 科 共 通 授 業 科 目	基 礎 教 養 科 目	人 文 系	哲学	哲学	1	△										講義			
			心理学	心理学A	心理学B	1	△											講義	
				論理学	論理学	1	△											講義	
			教育学	教育学A	教育学B	1	△											講義	
				倫理学	倫理学	1	△											講義	
		社 会 科 学 系	法学	法学A	法学B	1	△											講義	
				政治学	政治学A	政治学B	1	△										講義	
			経済学	経済学A	経済学B	1	△											講義	
				経営学	経営学	1	△											講義	
			社会学	社会学	1	△											講義		
		自 然 科 学 系	数 学	数学A	数学B	1	△											講義	
				数学C	数学D	1	△											講義	
				化 学	化学A	化学B	1	△											講義
					化学C	化学D	1	△											講義
			惑 星 学		惑星学C	惑星学D	1	△											講義
	情 報 科 学				情報学A	情報学B	1	△											講義
			データサイエンス基礎学		1	△											講義		
	科 目 合 計		総 合 教 養 科 目  (1) 多文化理解	教育と人間形成	教育と人間形成	1	△											講義	
				文学	文学A	文学B	1	△											講義
		言語科学			言語科学A	言語科学B	1	△											講義
				芸術と文化	芸術と文化A	芸術と文化B	1	△											講義
		日本史			日本史A	日本史B	1	△											講義
				東洋史	東洋史A	東洋史B	1	△											講義
		アジア史			アジア史A	アジア史B	1	△											講義
				西洋史	西洋史A	西洋史B	1	△											講義
		考古学			考古学A	考古学B	1	△											講義
																			講義
		6 科目 合計 6 単位																	
		6 科目 合計 6 単位																	

授 業 科 目			単 位 数	必修 選択 の別	卒 業 要 件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態						
						1 年 次				2 年 次		3 年 次			4 年 次					
						第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期				
全 学 共 通 教 養 科 目	(1) 多文化理解	芸術史	芸術史A	1	△											講義				
			芸術史B	1	△											講義				
		美術史	美術史A	1	△												講義			
			美術史B	1	△												講義			
		科学史	科学史A	1	△												講義			
			科学史B	1	△												講義			
		社会思想史	社会思想史	1	△												講義			
		文化人類学	文化人類学	1	△												講義			
		現代社会論	現代社会論A	1	△													講義		
			現代社会論B	1	△													講義		
	越境する文化	越境する文化	1	△													講義			
	生活環境と技術	生活環境と技術	1	△													講義			
	カタチの文化学	カタチの文化学	1	△													講義			
	(2) 自然界の成り立ち	科学技術と倫理	科学技術と倫理	1	△													講義		
			現代物理学が描く世界	現代物理学が描く世界	1	△												講義		
		身近な物理法則	身近な物理法則	1	△													講義		
		カタチの自然学	カタチの自然学A	1	△														講義	
			カタチの自然学B	1	△														講義	
		ものづくりと科学技術	ものづくりと科学技術A	1	△														講義	
			ものづくりと科学技術B	1	△														講義	
		生物資源と農業	生物資源と農業A	1	△														講義	
			生物資源と農業B	1	△														講義	
			生物資源と農業C	1	△														講義	
	生物資源と農業D		1	△														講義		
	環境学入門	環境学入門A	1	△														講義		
		環境学入門B	1	△														講義		
	社会と人権	社会と人権A	1	△														講義		
		社会と人権B	1	△														講義		
	男女共同参画とジェンダー	男女共同参画とジェンダーA	1	△														講義		
		男女共同参画とジェンダーB	1	△														講義		
	グローバルリーダーシップ育成基礎演習	グローバルリーダーシップ育成基礎演習	2	△														講義		
	(3) グローバリゼーション	EU基礎論	EU基礎論	1	△														講義	
		国際協力の現状と課題	国際協力の現状と課題A	1	△														講義	
			国際協力の現状と課題B	1	△														講義	
		政治と社会	政治と社会	1	△														講義	
		社会生活と法	社会生活と法	1	△														講義	
		国家と法	国家と法	1	△														講義	
		現代の経済	現代の経済A	1	△															講義
			現代の経済B	1	△															講義
		経済社会の発展	経済社会の発展	1	△														講義	
地球史における生物の変遷		地球史における生物の変遷	1	△														講義		
生物の環境適応	生物の環境適応	1	△														講義			
人間活動と地球生態系	人間活動と地球生態系	1	△														講義			
食と健康	食と健康A	1	△															講義		
	食と健康B	1	△															講義		
資源・材料とエネルギー	資源・材料とエネルギーA	1	△															講義		
	資源・材料とエネルギーB	1	△															講義		

授 業 科 目	単位 数	必修 選択 の別	卒業 要件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態		
				1 年次				2 年次		3 年次			4 年次	
				第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期
(4) ESD	ESD基礎	ESD基礎 (持続可能な社会づくり1)	1	△										講義
	ESD論	ESD論 (持続可能な社会づくり2) A	1	△										講義
		ESD論 (持続可能な社会づくり2) B	1	△										講義
ESD生涯学習論	ESD生涯学習論A		1	△										講義
	ESD生涯学習論B		1	△										講義
ESDボランティア論	ESDボランティア論		1	△										講義
(5) 企業社会論	企業社会論A		1	△										講義
	企業社会論B		1	△										講義
職業と学び	職業と学び-キャリアデザインを考えるA		1	△										講義
	職業と学び-キャリアデザインを考えるB		1	△										講義
(5) キャリア科目	社会基礎学 (グローバル人材に不可欠な教養)	社会基礎学 (グローバル人材に不可欠な教養)	2	△										講義
	ボランティアと社会貢献活動	ボランティアと社会貢献活動A	1	△										講義
		ボランティアと社会貢献活動B	1	△										講義
グローバルチャレンジ実習	グローバルチャレンジ実習	1又は2	△										講義	
(6) 神戸大学史	神戸大学史A		1	△										講義
	神戸大学史B		1	△										講義
阪神・淡路大震災	阪神・淡路大震災と都市の安全		1	△										講義
地域連携	ひょうご神戸学		1	△										講義
	地域社会形成基礎論		1	△										講義
日本酒学入門			1	△										講義
海への誘い	海への誘い		2	△										講義
瀬戸内海学入門	瀬戸内海学入門		2	△										講義
(7) データサイエンス	データサイエンス入門	データサイエンス入門	1	△										講義
	データサイエンス概論	データサイエンス概論A	1	△										講義
		データサイエンス概論B	1	△										講義
	データサイエンス基礎演習	データサイエンス基礎演習	1	△										演習
外国語科目	外国語第 I	Academic English Literacy A1	0.5	○	4 単位必修									演習
		Academic English Literacy A2	0.5	○										演習
		Academic English Literacy B1	0.5	△										演習
		Academic English Literacy B2	0.5	△										演習
		Academic English Literacy B1(選抜上級クラス)	0.5	△										演習
		Academic English Literacy B2(選抜上級クラス)	0.5	△										演習
		Academic English Communication A1	0.5	○										演習
		Academic English Communication A2	0.5	○										演習
		Academic English Communication B1	0.5	△										演習
		Academic English Communication B2	0.5	△										演習
		Academic English Communication B1(選抜上級クラス)	0.5	△										演習
Academic English Communication B2(選抜上級クラス)	0.5	△									演習			
外国語第 II	ドイツ語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△		ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語の内1言語選択計4単位									演習
	フランス語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△											演習
	中国語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△											演習
	ロシア語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△											演習
情報科目	情報基礎		1	○		○								演習
	情報科学1		1	△			○							講義
	情報科学2		1	△				○						講義
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学実習基礎		1	○	1単位必修	○								実習



授 業 科 目			単 位 数	必修 選択 の別	卒業 要件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態			
						1 年 次				2 年 次		3 年 次			4 年 次		
						第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期	
その 他の 科目	総合科目 I		—												講義		
	総合科目 II		—												講義		
専 門 科 目	共通 専門 基礎 科目	線形代数入門 1	1	△	8～10 単位 必修			○								講義	
		線形代数入門 2	1	△				○									講義
		微分積分入門 1	1	△		○											講義
		微分積分入門 2	1	△			○										講義
		物理学入門	1	△		○											講義
		力学基礎 1	1	△		○											講義
		力学基礎 2	1	△			○										講義
		電磁気学基礎 1	1	△				○									講義
		電磁気学基礎 2	1	△					○								講義
		物理学実験	2	△		○	○										実験
		生物学概論 B 1	1	△		○											講義
		生物学概論 B 2	1	△			○										講義
		生物学各論 C 1	1	△				○									講義
		生物学各論 C 2	2	△					○								講義
共通特論	現代医療と生命倫理	1	○	4 単位 必修	○										講義		
	初期体験実習	1	○		○										実習		
	保健学初年次セミナー	1	○		○										講義		
	I P W概論	1	○		○										講義		
そ の 他 必 修 科 目	リハビリテーション概論	1	○	7 単位 必修	○										講義		
	理学療法概論	1	○		○										講義		
	生理学基礎	1	○		○										講義		
	解剖学Ⅱ	1	○				○								講義		
	解剖学Ⅲ	1	○					○							講義		
	生理学Ⅱ	1	○					○							講義		
	人間発達学	1	○					○							講義		

(備考) 「必修・選択の別」欄の○は必修科目を、△は選択必修科目を示す。  
その他の科目「総合科目 I」「総合科目 II」の単位数はその都度定める。

作業療法学専攻教育課程表（令和4年度入学者に適用・1年次）

授 業 科 目			単 位 数	必修 選 択 の 別	卒業 要件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態					
						1 年 次				2 年 次		3 年 次			4 年 次				
						第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期			
授業科目の区分等																			
全 学 科 共 通 授 業 科 目	基 礎 教 養 科 目	人 文 系	哲学	哲学	1	△										講義			
			心理学	心理学A	心理学B	1	△											講義	
				論理学	論理学	1	△											講義	
			教育学	教育学A	教育学B	1	△											講義	
				倫理学	倫理学	1	△											講義	
		社 会 科 学 系	法学	法学A	法学B	1	△											講義	
				政治学	政治学A	政治学B	1	△										講義	
			経済学	経済学A	経済学B	1	△											講義	
				経営学	経営学	1	△											講義	
			社会学	社会学	1	△											講義		
			教育社会学	教育社会学	1	△											講義		
			地理学	地理学	1	△											講義		
			自 然 科 学 系	数 学	数学A	数学B	1	△											講義
		数学C			数学D	1	△											講義	
		化 学			化学A	化学B	1	△											講義
	化学C				化学D	1	△											講義	
	惑 星 学			惑星学C	惑星学D	1	△											講義	
				情 報 科 学	情報学A	情報学B	1	△											講義
	データサイエンス基礎学				1	△											講義		
	科 目 合 計	総 合 教 養 科 目  (1) 多文化理解		教育と人間形成	教育と人間形成	1	△											講義	
				文学	文学A	文学B	1	△											講義
					言語科学	言語科学A	言語科学B	1	△										
				芸術と文化		芸術と文化A	芸術と文化B	1	△										
			日本史		日本史A	日本史B	1	△											講義
				東洋史	東洋史A	東洋史B	1	△											講義
			アジア史		アジア史A	アジア史B	1	△											講義
				西洋史	西洋史A	西洋史B	1	△											講義
			考古学		考古学A	考古学B	1	△											講義
																			講義
6 科目 合計 6 単位																			
6 科目 合計 6 単位																			

授 業 科 目			単 位 数	必修 選 択 の 別	卒 業 要 件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態			
						1 年 次				2 年 次		3 年 次			4 年 次		
						第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期	
全 学 共 通 教 養 科 目	(1) 多文化理解	芸術史	芸術史A	1	△											講義	
			芸術史B	1	△											講義	
		美術史	美術史A	1	△												講義
			美術史B	1	△												講義
		科学史	科学史A	1	△												講義
			科学史B	1	△												講義
		社会思想史	社会思想史	1	△												講義
		文化人類学	文化人類学	1	△												講義
		現代社会論	現代社会論A	1	△												講義
			現代社会論B	1	△												講義
		越境する文化	越境する文化	1	△												講義
	生活環境と技術	生活環境と技術	1	△												講義	
	カタチの文化学	カタチの文化学	1	△												講義	
	(2) 自然界の成り立ち	科学技術と倫理	科学技術と倫理	1	△												講義
		現代物理学が描く世界	現代物理学が描く世界	1	△												講義
		身近な物理法則	身近な物理法則	1	△												講義
		カタチの自然学	カタチの自然学A	1	△												講義
			カタチの自然学B	1	△												講義
		ものづくりと科学技術	ものづくりと科学技術A	1	△												講義
			ものづくりと科学技術B	1	△												講義
		生物資源と農業	生物資源と農業A	1	△												講義
			生物資源と農業B	1	△												講義
			生物資源と農業C	1	△												講義
			生物資源と農業D	1	△												講義
	環境学入門	環境学入門A	1	△												講義	
		環境学入門B	1	△												講義	
	社会と人権	社会と人権A	1	△												講義	
		社会と人権B	1	△												講義	
	男女共同参画とジェンダー	男女共同参画とジェンダーA	1	△												講義	
		男女共同参画とジェンダーB	1	△												講義	
	グローバルリーダーシップ育成基礎演習	グローバルリーダーシップ育成基礎演習	2	△												講義	
	(3) グローバリシユール	EU基礎論	EU基礎論	1	△												講義
		国際協力の現状と課題	国際協力の現状と課題A	1	△												講義
			国際協力の現状と課題B	1	△												講義
		政治と社会	政治と社会	1	△												講義
		社会生活と法	社会生活と法	1	△												講義
		国家と法	国家と法	1	△												講義
		現代の経済	現代の経済A	1	△												講義
			現代の経済B	1	△												講義
		経済社会の発展	経済社会の発展	1	△												講義
		地球史における生物の変遷	地球史における生物の変遷	1	△												講義
生物の環境適応		生物の環境適応	1	△												講義	
人間活動と地球生態系		人間活動と地球生態系	1	△												講義	
食と健康		食と健康A	1	△												講義	
		食と健康B	1	△												講義	
資源・材料とエネルギー		資源・材料とエネルギーA	1	△												講義	
		資源・材料とエネルギーB	1	△												講義	

授 業 科 目			単 位 数	必修 選択 の別	卒 業 要 件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態											
						1 年 次				2 年 次		3 年 次			4 年 次										
						第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期									
全 学 科 目	総 合 教 養 科 目	(4) E S D	ESD基礎	ESD基礎 (持続可能な社会づくり1)	1	△																	講義		
			E S D 論	ESD論 (持続可能な社会づくり2) A	1	△																			講義
				ESD論 (持続可能な社会づくり2) B	1	△																			
		ESD生涯学習論	ESD生涯学習論A	1	△																				講義
			ESD生涯学習論B	1	△																				講義
		ESDボランティア論	ESDボランティア論	1	△																				講義
		(5) キャリア科目	企業社会論	企業社会論A	1	△																			講義
				企業社会論B	1	△																			
			職業と学び	職業と学び-キャリアデザインを考えるA	1	△																			
		職業と学び-キャリアデザインを考えるB		1	△																				講義
		社会基礎学 (グローバル人材に不可欠な教養)	社会基礎学 (グローバル人材に不可欠な教養)	2	△																				講義
		ボランティアと社会貢献活動	ボランティアと社会貢献活動A	1	△																				講義
	ボランティアと社会貢献活動B		1	△																				講義	
	グローバルチャレンジ実習	グローバルチャレンジ実習	1又は2	△																				講義	
	(6) 神戸学	神戸大学史	神戸大学史A	1	△																			講義	
			神戸大学史B	1	△																				講義
		阪神・淡路大震災	阪神・淡路大震災と都市の安全	1	△																			講義	
		地域連携	ひょうご神戸学	1	△																				講義
			地域社会形成基礎論	1	△																				講義
		日本酒学入門	日本酒学入門	1	△																				
	海への誘い	海への誘い	2	△																				講義	
	瀬戸内海学入門	瀬戸内海学入門	2	△																				講義	
	(7) データサイエンス	データサイエンス入門	データサイエンス入門	1	△																			講義	
		データサイエンス概論	データサイエンス概論A	1	△																				講義
			データサイエンス概論B	1	△																				講義
		データサイエンス基礎演習	データサイエンス基礎演習	1	△																				演習
	外国語科目	外国語第I	Academic English Literacy A1	0.5	○																			演習	
			Academic English Literacy A2	0.5	○																				演習
Academic English Literacy B1			0.5	△																				演習	
Academic English Literacy B2			0.5	△																				演習	
Academic English Literacy B1(選抜上級クラス)			0.5	△																				演習	
Academic English Literacy B2(選抜上級クラス)			0.5	△																				演習	
Academic English Communication A1			0.5	○																				演習	
Academic English Communication A2			0.5	○																				演習	
Academic English Communication B1			0.5	△																				演習	
Academic English Communication B2			0.5	△																				演習	
Academic English Communication B1(選抜上級クラス)			0.5	△																				演習	
Academic English Communication B2(選抜上級クラス)			0.5	△																				演習	
外国語第II		ドイツ語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△		ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語の内1つの言語を選択計4単位																		演習	
		フランス語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△																					演習
		中国語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△																					演習
		ロシア語 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	各0.5計4	△																					演習
		情報基礎	1	○			情報基礎は必修1～3	○																	
情報科目	情報科学1	1	△				○																講義		
	情報科学2	1	△					○															講義		
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学実習基礎	1	○		1単位必修	○																	実習		

授 業 科 目		単 位 数	必修 選 択 の 別	卒 業 要 件	配 当 年 次 ・ 学 期								授 業 形 態					
					1 年 次				2 年 次		3 年 次			4 年 次				
					第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期			
その 他の 科目	総合科目Ⅰ		—												講義			
	総合科目Ⅱ		—												講義			
専 門 科 目	共 通 専 門 基 礎 科 目	線形代数入門 1	1	△	6～8 単 位 必 修			○								講義		
		線形代数入門 2	1	△				○									講義	
		微分積分入門 1	1	△		○												講義
		微分積分入門 2	1	△			○											講義
		物理学入門	1	△		○												講義
		力学基礎 1	1	△		○												講義
		力学基礎 2	1	△			○											講義
		電磁気学基礎 1	1	△				○										講義
		電磁気学基礎 2	1	△					○									講義
		物理学実験基礎	1	△		○												講義
		物理学実験	2	△		○	○											実験
		生物学概論 B 1	1	△		○												講義
		生物学概論 B 2	1	△			○											講義
		生物学各論 C 1	1	△					○									講義
生物学各論 C 2	1	△					○								講義			
共 通 特 論	現代医療と生命倫理	1	○	4 単 位 必 修	○											講義		
	初期体験実習	1	○		○											実習		
	保健学初年次セミナー	1	○		○											講義		
	I P W概論	1	○		○											講義		
そ の 他 必 修 科 目	リハビリテーション概論	1	○	9 単 位 必 修	○											講義		
	作業療法概論	1	○		○											講義		
	生理学基礎	1	○		○											講義		
	解剖学Ⅱ	1	○				○									講義		
	解剖学Ⅲ	1	○				○									講義		
	生理学Ⅱ	1	○				○									講義		
	人間発達学	1	○				○									講義		
	作業療法理論	1	○				○									講義		
	作業療法基礎	1	○				○									講義		

(備考) 「必修・選択の別」欄の○は必修科目を、△は選択必修科目を示す。  
 その他の科目「総合科目Ⅰ」「総合科目Ⅱ」の単位数はその都度定める。

2年次以上に関する内容

令和4年度 看護学専攻教育課程表

(令和4年度入学者に適用・2年次以上)

授 業 科 目	授 業 形 態	配 当 年 次 ・ 学 期								単 位 数	必 修 選 択 別	履 修 要 件 等	
		1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次					
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
<b>基礎教養科目</b>													
人文系 社会科学系  自然科学系	講義 講義  講義										6	△ △  ○※	授業科目のうち、生命科学系の全科目、自然科学系の「物理学A・B」及び「化学A・B・C・D」は除く。 ※自然科学系の「データサイエンス基礎学」は必修。
<b>総合教養科目</b>													
(1)多文化理解 (2)自然界の成り立ち (3)グローバルイシュー (4)ESD (5)キャリア科目 (6)神戸学 (7)データサイエンス	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義										6	△ △ △ △ △ △ △	授業科目のうち、(2)自然界の成り立ちの「生命科学A・B」は除く。
<b>外国語科目</b>													
Academic English Literacy A1, A2, B1, B2 Academic English Communication A1, A2, B1, B2 ドイツ語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4 フランス語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4 中国語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4 ロシア語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	演習 演習 演習 演習 演習										各0.5 各0.5 各0.5 各0.5 各0.5	○ ○ △ △ △	各0.5単位、計4単位※  ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語の内1つの言語を選択、計4単位
<b>情報科目</b>													
情報基礎 情報科学1 情報科学2	演習 講義 講義										1 1 1	○ △ △	1～3単位
<b>健康・スポーツ科学</b>													
健康・スポーツ科学実習基礎	実習										1	○	1単位
<b>高度教養科目</b>													
国際保健 災害保健 I P W統合演習 緩和ケア論 データサイエンスPBL演習	講義 講義 演習 講義 演習			○	○						1 1 1 1 1	○ ○ ○ ○ △	4単位
<b>その他必要と認める科目</b>													
総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ	講義 講義											— —	単位数はその都度定める。 単位数はその都度定める。
<b>専 門 科 目</b>													
<b>共通専門基礎科目</b>													
線形代数入門1 線形代数入門2 微分積分入門1 微分積分入門2 物理学入門 力学基礎1 力学基礎2 基礎有機化学1 基礎有機化学2 生物学概論B1 生物学概論B2 生物学各論C1 生物学各論C2	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義										1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	△ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △	6～8単位
<b>共通特論</b>													
現代医療と生命倫理 保健学初年次セミナー 初期体験実習 I P W概論	講義 講義 実習 講義	○ ○ ○ ○									1 1 1 1	○ ○ ○ ○	4単位
<b>その他必修科目及び選択必修科目</b>													
生化学 薬と生体反応 身体のしくみと働きⅠ 身体のしくみと働きⅡ 身体のしくみと働きⅢ 解剖学演習 健康と栄養 感染・免疫学 感染看護論 臨床心理学 病理学 症状マネージメント論 看護学概論 ひとと生活 看護援助論 生活援助技術演習 治療援助技術演習 看護実践基盤実習(援助関係) 看護実践基盤実習(生活援助) 病い論	講義 講義 講義 講義 講義 演習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 演習 演習 演習 実習 実習 講義		○	○	○						1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 2 1 2 2 1.5 1.5 1	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	

(注) 必修・選択の別欄：「○」印は必修科目、「△」印は選択必修科目、「—」印は選択科目(卒業要件外科目)を示す。  
※Academic English Literacy B1, B2(選抜上級クラス), Academic English Communication B1, B2(選抜上級クラス)を修得した場合は、それぞれAcademic English Literacy B1, B2, Academic English Communication B1, B2に代えることができる。

授 業 科 目	授 業 形 態	配 当 年 次 ・ 学 期								単 位 数	必 修 選 択 別	履 修 要 件 等	
		1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次					
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
援助過程論	講義				○					1	○	90単位 (選択必修科目2単位含む)	
慢性期看護学	講義					○				1	○		
慢性期看護学演習	演習					○				1	○		
治療・回復期看護学	講義					○				1	○		
治療・回復期看護学演習	演習					○				1	○		
老年看護学Ⅰ	講義				○					2	○		
老年看護学Ⅱ	講義					○				2	○		
小児看護学	講義					○				2	○		
母性看護学概論	講義				○					1	○		
母性看護学	講義					○				2	○		
精神看護学	講義					○				2	○		
メンタルヘルス論	講義				○					1	○		
疾病の成り立ちと治療Ⅰ	講義				○					2	○		
疾病の成り立ちと治療Ⅱ	講義				○					2	○		
疾病の成り立ちと治療Ⅲ	講義				○					2	○		
疾病の成り立ちと治療Ⅳ(こども)	講義				○					2	○		
疾病の成り立ちと治療Ⅴ(精神)	講義				○					2	○		
クリティカルケア論	講義								○	1	△		
セルフヘルプ論	講義								○	1	△		
治療的コミュニケーション論	講義								○	1	△		
新生児健康障害論	講義								○	1	△		
周産母子健康障害論	講義								○	1	○		
フィジカルアセスメント演習	演習					○				1	○		
看護実践展開実習Ⅰ(成人)	実習							○		4	○		
看護実践展開実習Ⅱ(成人)	実習								○	2	○		
看護実践展開実習Ⅰ(老年)	実習								○	2	○		
看護実践展開実習Ⅰ(小児・家族)	実習								○	2	○		
看護実践展開実習Ⅰ(母性)	実習								○	2	○		
看護実践展開実習Ⅰ(精神)	実習								○	2	○		
保健行政論	講義		○							1	○		
保健医療福祉論	講義				○					1	○		
統計学	講義		○							1	○		
公衆衛生学	講義		○							1	○		
看護情報学	講義								○	1	△		
地域看護学概論	講義				○					1	○		
看護政策論	講義								○	1	△		
在宅看護学概論	講義					○				1	○		
在宅看護論	講義								○	1	○		
在宅看護展開論	講義								○	1	○		
地域看護論	講義					○				2	○		
家族看護学	講義					○				2	○		
地域・在宅看護実習Ⅰ	実習								○	1	○		
地域・在宅看護実習Ⅱ	実習								○	1	○		
統合看護実習	実習								○	3	○		
看護管理論	講義								○	1	○		
研究ゼミナール	演習		○		○					1	○		
看護研究方法論	演習					○				1	○		
<b>卒業研究</b>													
卒業研究	卒業研究								○	○	2	○	2単位
<b>その他必要と認める科目</b>													
保健医療英語	講義				○						1	—	
グローバルヘルスフィールド演習	演習				○	○					2	—	2年次以上履修可

(卒業要件) 基礎教養科目 6単位 総合教養科目 6単位 外国語科目 8単位 情報科目 1～3単位  
健康・スポーツ科学 1単位 高度教養科目 4単位 専門科目 102～104単位 合計130単位



令和4年度 検査技術科学専攻教育課程表

(令和3年度入学者に適用・2年次以上)

授 業 科 目	授 業 形 態	配 当 年 次 ・ 学 期								単 位 数	必 修 選 択	履 修 要 件 等
		1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次				
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
<b>基礎教養科目</b>												
人文系 社会科学系 自然科学系	講義 講義 講義									6	△ △ △	授業科目のうち、生命科学系の全科目、自然科学系の「物理学A・B」及び「化学A・B・C・D」は除く。
<b>総合教養科目</b>												
(1)多文化理解 (2)自然界の成り立ち (3)グローバルイシュー (4)ESD (5)キャリア科目 (6)神戸学 (7)データサイエンス	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義									6	△ △ △ △ △ △ △	授業科目のうち、(2)自然界の成り立ちの「生命科学A・B」は除く。
<b>外国語科目</b>												
Academic English Literacy A1, A2, B1, B2 Academic English Communication A1, A2, B1, B2 ドイツ語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4 フランス語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4 中国語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4 ロシア語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	演習 演習 演習 演習 演習 演習									各0.5 各0.5 各0.5 各0.5 各0.5 各0.5	○ ○ △ △ △ △	各0.5単位、計4単位※ ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語の内1つの言語を選択、計4単位
<b>情報科目</b>												
情報基礎 情報科学1 情報科学2	演習 講義 講義									1 1 1	○ △ △	1～3単位
<b>健康・スポーツ科学</b>												
健康・スポーツ科学実習基礎	実習									1	○	1単位
<b>高度教養科目</b>												
国際保健 災害保健 I P W統合演習 国際感染症論 データサイエンスPBL演習	講義 講義 演習 講義 演習			○	○					1 1 1 1 1	○ ○ ○ ○ △	4単位
<b>その他必要と認める科目</b>												
総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ	講義 講義										— —	単位数はその都度定める。 単位数はその都度定める。
<b>専 門 科 目</b>												
<b>共通専門基礎科目</b>												
線形代数入門1 線形代数入門2 微分積分入門1 微分積分入門2 物理学入門 力学基礎1 力学基礎2 電磁気学基礎1 電磁気学基礎2 物理学実験基礎 物理学実験 基礎物理化学1 基礎物理化学2 基礎有機化学1 基礎有機化学2 生物学概論B1 生物学概論B2 生物学各論C1 生物学各論C2	講義 講義 講義 講義 実験 講義 講義 講義 講義 講義 実験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義									1 1	△ △	8～10単位
<b>共通特論</b>												
現代医療と生命倫理 保健学初年次セミナー 初期体験実習 I P W概論	講義 講義 実習 講義	○ ○ ○ ○								1 1 1 1	○ ○ ○ ○	4単位
<b>その他必修科目及び選択必修科目</b>												
解剖学Ⅰ 解剖学実習Ⅰ 免疫学 生理学Ⅰ 生理学実習Ⅰ 一般検査学演習 分子生物学概論 病態栄養学 栄養機能学 公衆衛生学 公衆衛生学実習 保健行政論 環境・食品・産業衛生学 統計学 医療システム論 医療情報処理学	講義 実習 講義 講義 実習 演習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義		○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○						2 1 2 2 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	

(注) 必修・選択の別欄: 「○」印は必修科目、「△」印は選択必修科目、「—」印は選択科目(卒業要件外科目)を示す。

※Academic English Literacy B1, B2(選抜上級クラス), Academic English Communication B1, B2(選抜上級クラス)を修得した場合は、それぞれAcademic English Literacy B1, B2, Academic English Communication B1, B2に代えることができる。

授 業 科 目	授 業 形 態	配 当 年 次 ・ 学 期								単 位 数	必 修 選 択 別	履 修 要 件 等
		1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次				
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
臨床医学総論Ⅰ	講義			○						1	○	101～102単位 (選択必修科目1～2単位含む)
臨床医学総論Ⅱ	講義				○					1	○	
臨床検査医学Ⅰ	講義					○				1	○	
臨床検査医学Ⅱ	講義						○			1	○	
検査情報解析学	講義								○	1	○	
検査情報解析学演習	演習								○	1	○	
生化学Ⅱ	講義		○	○						2	○	
生化学実習Ⅰ	実習			○						2	○	
臨床化学	講義				○					2	○	
臨床化学実習Ⅰ	実習					○				2	○	
放射性同位元素検査技術学	講義						○			1	○	
遺伝子・染色体検査学	実習					○				1	○	
臨床免疫学	講義				○					3	○	
臨床免疫学実習Ⅰ	実習					○				3	○	
臨床細菌学	講義				○					1	○	
臨床細菌検査学	講義					○				2	○	
臨床細菌検査学実習Ⅰ	実習						○			1	○	
ウイルス検査学	講義					○				2	○	
ウイルス検査学実習	実習						○			1	○	
臨床生理学	講義			○						1	○	
生理機能検査学	講義				○		○			4	○	
臨床生理学実習Ⅰ	実習							○		2	○	
総合画像診断学	講義							○		2	○	
画像診断解析学	講義							○		2	○	
生体情報計測学	講義				○					1	○	
生体情報計測学実習	実習					○				1	○	
臨床血液学	講義			○	○					3	○	
臨床血液学実習Ⅰ	実習					○				2	○	
病理学Ⅰ	講義			○						1	○	
病理学Ⅱ	講義				○					1	○	
病理組織細胞学	講義					○				2	○	
病理組織細胞学実習Ⅰ	実習						○			2	○	
寄生虫検査学	講義					○				1	○	
寄生虫検査学実習	実習						○			1	○	
検査管理総論	講義			○						2	○	
検査統合実習	実習									1	○	
臨床検査実践論	講義							○		1	○	
機器分析学	講義			○						1	○	
臨床検査概論	講義	○								1	○	
臨床血液学実習Ⅱ	実習								○	2	○	
臨床免疫学実習Ⅱ	実習								○	1	○	
臨床細菌検査学実習Ⅱ	実習								○	2	○	
臨床生理学実習Ⅱ	実習								○	3	○	
臨床化学実習Ⅱ	実習								○	1	○	
病理組織細胞学実習Ⅱ	実習								○	2	○	
原書講読	演習								○	1	○	
国際情報検索	講義							○		1	△	
移植管理学	講義							○		1	○	
薬と生体反応	講義			○						1	○	
遺伝子・染色体検査学実習	実習							○		1	○	
医療安全管理学	講義							○		1	○	
医療安全管理学演習	演習				○					2	○	
臨床検査技能演習	演習							○		1	○	
<b>卒業研究</b>												
卒業研究	卒業研究							○	○	4	○	4単位
<b>その他必要と認める科目</b>												
保健医療英語	講義			○						1	—	2年次以上 履修可
グローバルヘルスフィールド演習	演習			○	○					2	—	

(卒業要件) 基礎教養科目 6単位 総合教養科目 6単位 外国語科目 8単位 情報科目 1～3単位  
健康・スポーツ科学 1単位 高度教養科目 4単位 専門科目 117～120単位 合計145単位

令和4年度 理学療法学専攻教育課程表

(令和4年度入学者に適用・2年次以上)

授 業 科 目	授 業 形 態	配 当 年 次 ・ 学 期								単 位 数	必 修 選 択 別	履 修 要 件 等
		1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次				
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
<b>基礎教養科目</b>												
人文系	講義									6	△	授業科目のうち、生命科学系の全科目、自然科学系の「物理学A・B」は除く。
社会科学系	講義										△	
自然科学系	講義										△	
<b>総合教養科目</b>												
(1)多文化理解	講義									6	△	授業科目のうち、(2)自然界の成り立ちの「生命科学A・B」は除く。
(2)自然界の成り立ち	講義										△	
(3)グローバルイシュー	講義										△	
(4)ESD	講義										△	
(5)キャリア科目	講義										△	
(6)神戸学	講義										△	
(7)データサイエンス	講義										△	
<b>外国語科目</b>												
Academic English Literacy A1, A2, B1, B2	演習									各0.5	○	各0.5単位、計4単位※
Academic English Communication A1, A2, B1, B2	演習									各0.5	○	
ドイツ語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	演習									各0.5	△	ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語の内1つの言語を選択、計4単位
フランス語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	演習									各0.5	△	
中国語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	演習									各0.5	△	
ロシア語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	演習									各0.5	△	
<b>情報科目</b>												
情報基礎	演習									1	○	1～3単位
情報科学1	講義									1	△	
情報科学2	講義									1	△	
<b>健康・スポーツ科学</b>												
健康・スポーツ科学実習基礎	実習									1	○	1単位
<b>高度教養科目</b>												
国際保健	講義				○					1	○	4単位
災害保健	講義					○				1	○	
I P W 統合演習	演習								○	1	○	
リハビリテーション工学・福祉用具学	講義					○				1	○	
データサイエンスPBL演習	演習									1	△	
<b>その他必要と認める科目</b>												
総合科目Ⅰ	講義										—	単位数はその都度定める。
総合科目Ⅱ	講義										—	単位数はその都度定める。
<b>専 門 科 目</b>												
<b>共通専門基礎科目</b>												
線形代数入門1	講義									1	△	8～10単位
線形代数入門2	講義									1	△	
微分積分入門1	講義									1	△	
微分積分入門2	講義									1	△	
物理学入門	講義									1	△	
力学基礎1	講義									1	△	
力学基礎2	講義									1	△	
電磁気学基礎1	講義									1	△	
電磁気学基礎2	講義									1	△	
物理学実験	実験									2	△	
生物学概論B1	講義									1	△	
生物学概論B2	講義									1	△	
生物学各論C1	講義									1	△	
生物学各論C2	講義									1	△	
<b>共通特論</b>												
現代医療と生命倫理	講義	○								1	○	4単位
保健学初年次セミナー	講義	○								1	○	
初期体験実習	実習	○								1	○	
I P W 概論	講義	○								1	○	
<b>その他必修科目及び選択必修科目</b>												
リハビリテーション概論	講義	○								1	○	
解剖学Ⅱ	講義		○							1	○	
解剖学実習Ⅱ	実習			○						2	○	
解剖学Ⅲ	講義		○							1	○	
解剖学実習Ⅲ	実習				○					1	○	
生理学基礎	講義	○								1	○	
生理学Ⅱ	講義		○							1	○	
生理学実習Ⅱ	実習			○						1	○	
人間発達学	講義		○							1	○	
運動学	講義			○						1	○	
臨床運動学	講義				○					1	○	
運動学実習	実習				○					1	○	
動作解析学実習	実習					○				1	○	
病理学Ⅰ	講義			○						1	○	
病理学Ⅱ	講義				○					1	○	
内部障害学	講義					○				1	○	
整形外科学	講義				○					1	○	

(注) 必修・選択の別欄：「○」印は必修科目、「△」印は選択必修科目、「—」印は選択科目(卒業要件外科目)を示す。  
 ※Academic English Literacy B1, B2 (選抜上級クラス), Academic English Communication B1, B2 (選抜上級クラス) を修得した場合は、それぞれAcademic English Literacy B1, B2, Academic English Communication B1, B2に代えることができる。

授 業 科 目	授 業 形 態	配 当 年 次 ・ 学 期								単 位 数	必 修 選 択 別	履 修 要 件 等
		1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次				
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
外科学概論	講義					○				1	○	83～85単位 (選択必修科目1～3単位含む)
小児疾病論	講義				○					1	○	
臨床神経学Ⅰ	講義			○						1	○	
臨床神経学Ⅱ	講義				○					1	○	
臨床心理学	講義			○						1	○	
精神医学Ⅰ	講義			○						1	○	
薬と生体反応	講義			○						1	○	
健康と栄養	講義			○						1	○	
画像診断解析学	講義				○					1	○	
スポーツ医学	講義								○	1	○	
統計学	講義			○						1	○	
老年期障害学	講義					○				1	○	
保健医療福祉論	講義					○				1	○	
保健行政論	講義					○				1	○	
地域看護学概論	講義									1	△	
生化学	講義			○						1	△	
臨床解剖学実習	実習							○		1	△	
移植管理学	講義								○	1	○	
理学療法概論	講義	○								1	○	
理学療法管理学	講義								○	1	○	
理学療法評価学	講義					○				1	○	
理学療法評価学実習	実習				○					2	○	
理学療法総合評価学	講義							○		1	○	
筋・骨格系障害理学療法学	講義					○				1	○	
筋・骨格系障害理学療法学実習	実習					○				1	○	
内部障害理学療法学	講義					○				1	○	
内部障害理学療法学実習	実習					○				1	○	
神経系障害理学療法学	講義					○				1	○	
神経系障害理学療法学実習	実習					○				1	○	
運動治療学	講義				○					1	○	
運動治療学実習	実習				○					2	○	
日常生活活動学	講義				○					1	○	
日常生活活動学実習	実習				○					1	○	
物理治療学	講義				○					1	○	
物理治療学実習	実習				○					1	○	
義肢装具学	講義				○					1	○	
義肢装具学実習	実習				○					1	○	
発達障害理学療法学	講義					○				1	○	
実践理学療法学	講義					○				1	○	
生活環境学	講義							○		1	○	
地域理学療法学	講義							○		1	○	
理学療法地域医療実習	実習							○		1	○	
臨床実習Ⅰ	実習			○						1	○	
臨床実習Ⅱ	実習							○		4	○	
臨床実習Ⅲ	実習							○		7	○	
臨床実習Ⅳ	実習							○		7	○	
臨床実習Ⅴ	実習								○	1	○	
理学療法研究法	講義							○		1	○	
理学療法研究法演習	演習							○		2	○	
<b>卒業研究</b>												
卒業研究	講義							○	○	4	○	4単位
<b>その他必要と認める科目</b>												
保健医療英語	講義			○						1	—	2年次以上 履修可
グローバルヘルスフィールド演習	演習			○	○					2	—	

〈卒業要件〉 基礎教養科目 6単位 総合教養科目 6単位 外国語科目 8単位 情報科目 1～3単位  
健康・スポーツ科学 1単位 高度教養科目 4単位 専門科目 99～103単位 合計127単位

令和4年度 作業療法学専攻教育課程表

(令和4年度入学者に適用・2年次以上)

授 業 科 目	授 業 形 態	配 当 年 次 ・ 学 期								単 位 数	必 修 選 択 別	履 修 要 件 等
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
<b>基礎教養科目</b>												
人文系 社会科学系 自然科学系	講義 講義 講義									6	△ △ △	授業科目のうち、生命科学系の全科目、自然科学系の「物理学A・B」は除く。
<b>総合教養科目</b>												
(1)多文化理解 (2)自然界の成り立ち (3)グローバル 이슈 (4)ESD (5)キャリア科目 (6)神戸学 (7)データサイエンス	講義 講義 講義 講義 講義 講義									6	△ △ △ △ △ △ △	授業科目のうち、(2)自然界の成り立ちの「生命科学A・B」は除く。
<b>外国語科目</b>												
Academic English Literacy A1, A2, B1, B2 Academic English Communication A1, A2, B1, B2 ドイツ語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4 フランス語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4 中国語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4 ロシア語初級 A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	演習 演習 演習 演習 演習									各0.5 各0.5 各0.5 各0.5 各0.5	○ ○ △ △ △	各0.5単位、計4単位※ ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語の内1つの言語を選択、計4単位
<b>情報科目</b>												
情報基礎 情報科学1 情報科学2	演習 講義 講義									1 1 1	○ △ △	1～3単位
<b>健康・スポーツ科学</b>												
健康・スポーツ科学実習基礎	実習									1	○	1単位
<b>高度教養科目</b>												
国際保健 災害保健 I P W統合演習 リハビリテーション工学・福祉用具学 データサイエンスPBL演習	講義 講義 演習 講義 演習			○						1 1 1 1 1	○ ○ ○ ○ △	4単位
<b>その他必要と認める科目</b>												
総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ	講義 講義										— —	単位数はその都度定める。 単位数はその都度定める。
<b>専 門 科 目</b>												
<b>共通専門基礎科目</b>												
線形代数入門 1 線形代数入門 2 微分積分入門 1 微分積分入門 2 物理学入門 力学基礎 1 力学基礎 2 電磁気学基礎 1 電磁気学基礎 2 物理学実験基礎 物理学実験 生物学概論 B 1 生物学概論 B 2 生物学各論 C 1 生物学各論 C 2	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義									1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	△ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △	6～8単位
<b>共通特論</b>												
現代医療と生命倫理 保健学初年次セミナー 初期体験実習 I P W概論	講義 講義 実習 講義	○ ○ ○ ○								1 1 1 1	○ ○ ○ ○	4単位
<b>その他必修科目及び選択必修科目</b>												
リハビリテーション概論 解剖学Ⅱ 解剖学実習Ⅱ 解剖学Ⅲ 解剖学実習Ⅲ 生理学基礎 生理学Ⅱ 生理学実習Ⅱ 人間発達学 運動学 臨床運動学 運動学実習 動作解析学実習 病理学Ⅰ 病理学Ⅱ 内部障害学 整形外科学 外科学概論 小児疾病論 臨床神経学Ⅰ 臨床神経学Ⅱ 臨床神経学Ⅲ 臨床心理学	講義 講義 実習 講義 実習 講義 講義 実習 講義 講義 実習 実習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	○ ○	○ ○							1 1 2 1	○ ○	

(注) 必修・選択の別欄：「○」印は必修科目、「△」印は選択必修科目、「—」印は選択科目（卒業要件外科目）を示す。  
 ※Academic English Literacy B1, B2(選抜上級クラス), Academic English Communication B1, B2 (選抜上級クラス) を修得した場合は、それぞれAcademic English Literacy B1, B2, Academic English Communication B1, B2に代えることができる。

授 業 科 目	授 業 形 態	配 当 年 次 ・ 学 期								単 位 数	必 修 選 択 別	履 修 要 件 等
		1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次				
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
精神医学Ⅰ	講義			○						1	○	88単位 (選択必修科目1単位含む)
精神医学Ⅱ	講義				○					1	○	
薬と生体反応	講義			○						1	○	
健康と栄養	講義			○						1	○	
画像診断解析学	講義				○					1	○	
スポーツ医学	講義								○	1	△	
統計学	講義			○						1	○	
作業療法概論	講義	○								1	○	
作業療法理論	講義		○							1	○	
基礎作業学	講義			○						1	○	
基礎作業学実習Ⅰ	実習				○					1	○	
基礎作業学実習Ⅱ	実習					○				1	○	
作業療法原書講読	演習					○	○			1	○	
作業療法研究法	講義					○	○			1	○	
身体障害作業療法評価学	講義					○				1	○	
身体障害作業療法評価学実習	実習						○			1	○	
発達障害作業療法学	講義					○				1	○	
発達障害作業療法学実習Ⅰ	実習						○			1	○	
精神障害作業療法評価学	講義					○	○			1	○	
身体障害作業療法学	講義					○				1	○	
身体障害作業療法学実習Ⅰ	実習						○			1	○	
身体障害作業療法学実習Ⅱ	実習							○		1	○	
発達障害作業療法学実習Ⅱ	実習							○	○	1	○	
精神障害リハビリテーション論	講義								○	1	△	
精神保健作業療法学Ⅰ	講義			○						1	○	
精神保健作業療法学Ⅰ実習	実習					○				1	○	
精神保健作業療法学Ⅱ	講義					○				1	○	
精神保健作業療法学Ⅱ実習	実習							○		1	○	
老年期障害学	講義					○				1	○	
老年期障害作業療法学	講義						○			1	○	
生活技術論	講義					○				1	○	
生活技術論実習	実習							○		1	○	
リハビリテーション工学・福祉用具学実習	実習							○		1	○	
作業療法基礎	講義		○							1	○	
臨床前作業療法実習	実習							○		1	○	
作業療法統合実習	実習								○	1	○	
職業・社会リハビリテーション	講義							○		1	○	
在宅援助論	講義								○	1	○	
保健医療福祉論	講義					○				1	○	
保健行政論	講義					○				1	○	
作業療法管理学Ⅰ	講義							○		1	○	
作業療法管理学Ⅱ	講義								○	1	○	
作業療法フィールド実習	実習					○				1	○	
臨床実習Ⅰ	実習			○						1	○	
臨床実習Ⅱ	実習							○		2	○	
臨床実習Ⅲ	実習								○	2	○	
臨床実習Ⅳ	実習							○	○	9	○	
臨床実習Ⅴ	実習							○	○	9	○	
<b>卒業研究</b>												
作業療法学研究	卒業研究						○	○	○	4	○	4単位
<b>その他必要と認める科目</b>												
保健医療英語	講義			○						1	—	1年次以上 履修可
グローバルヘルスフィールド演習	演習	○	○							2	—	

(卒業要件) 基礎教養科目 6単位 総合教養科目 6単位 外国語科目 8単位 情報科目 1～3単位  
健康・スポーツ科学 1単位 高度教養科目 4単位 専門科目 102～104単位 合計130単位

# 保健学科看護学専攻専門科目カリキュラム 履修体系表(令和4年度入学者)

1年前期      1年後期      2年前期      2年後期      3年前期      3年後期      4年前期      4年後期

**人体の構造と機能**

身体のしくみと働き I	1	身体のしくみと働き II	2	身体のしくみと働き III	1
		生化学	1	解剖学演習	1

科目名	単位数
選択科目名	
4.専攻共通科目	

**疾病の成り立ちと回復の促進**

感染・免疫学	1	感染症看護論	1
病理学	1	疾病の成り立ちと治療 I	2
薬と生体反応	1	疾病の成り立ちと治療 II	2
健康と栄養	1	疾病の成り立ちと治療 III	2
臨床心理学	1	疾病の成り立ちと治療 IV(子ども)	2
		疾病の成り立ちと治療 V(精神)	2

症状メカニズム論	1
----------	---

**健康支援と社会保険制度**

保健学初年次セミナー	1	保健医療福祉論	1
保健行政論	1		
統計学	1		
公衆衛生学	1		

基礎専門分野

**基礎看護学**

現代医療と生命倫理	1	看護学概論	2
ひとと生活	1	援助過程論	1
看護援助論	1	治療援助技術演習	2
生活援助技術演習	2		

**成人看護学**

病い論	1	慢性期看護学	1
		治療・回復期看護学	1
		慢性期看護学演習	1
		治療・回復期看護学演習	1
		老年看護学 II	2
		小児看護学	2
		精神看護学	2
		母性看護学	2
		周産母子健康障害論	1

**老年看護学  
小児看護学  
精神看護学  
母性看護学**

老年看護学 I	2	在宅看護学概論	1
メンタルヘルス論	1	在宅看護学総論	1
母性看護学概論	1	地域看護論	2
		家族看護学	2

**地域・在宅看護論**

在宅看護論	1	在宅看護学総論	1
		地域看護論	2
		家族看護学	2

**看護の統合と実践**

IPW概論	1	災害保健	1
研究ゼミナール	1	看護研究方法論	1
		卒業研究	2

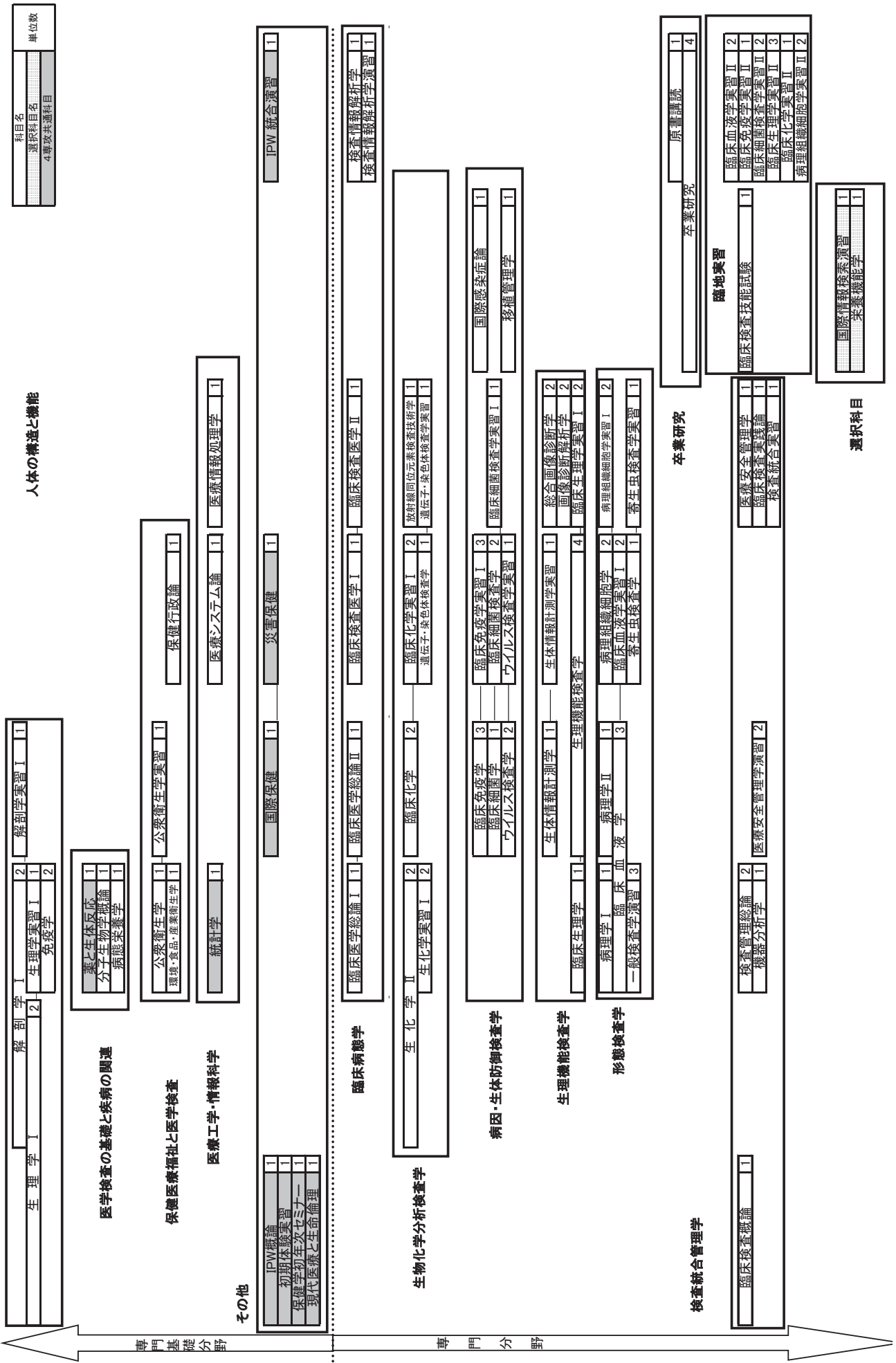
**臨床実習**

<b>専門分野</b>		<b>看護実践基礎実習</b>	
初級体験実習 I	1	看護実践基礎実習 生活援助 I 1.5	1.5
		看護実践基礎実習 生活援助 I 1.5	1.5
<b>看護の統合と実践</b>		<b>看護実践基礎実習 II</b>	
		成人 I 4	4
		成人 II 2	2
		地域・在宅看護実習 II	1
		小児・家族 2	2
		精神 2	2
		母性 2	2
		地域・在宅看護実習 I 1	1
<b>看護の統合と実践</b>		<b>統合看護実習</b>	
			3

専門分野

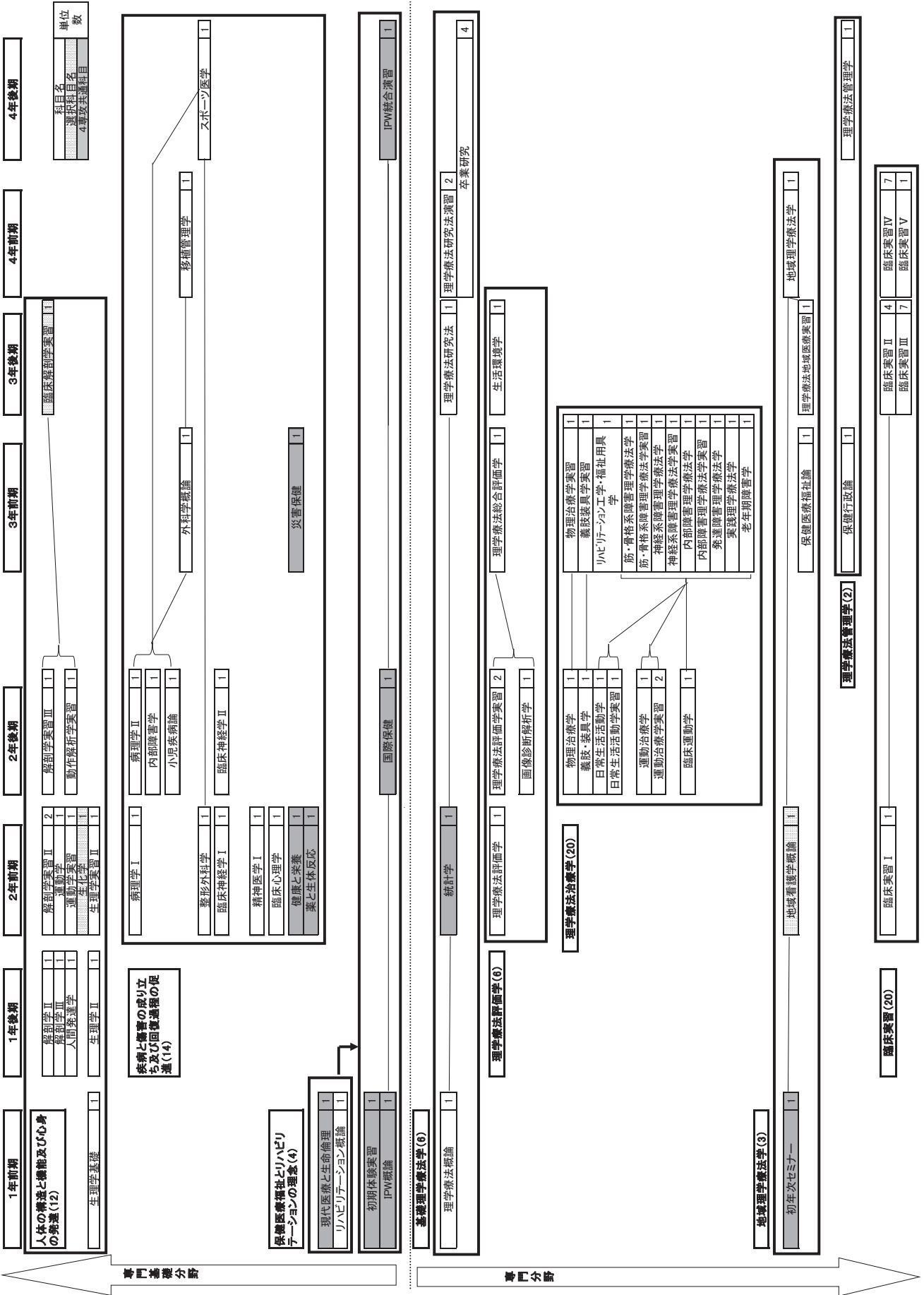
保健学科検査技術科学専攻専門科目カリキュラム(令和4年度入学者)

1年前期 1年後期 2年前期 2年後期 3年前期 3年後期 4年前期 4年後期





保健学科理学療法専攻専門科目カリキュラム(令和4年度入学者)



保健学科作業療法学専攻専門科目カリキュラム履修体系図(令和4年度入学者)

4年後期

4年前期

3年後期

3年前期

2年後期

2年前期

1年後期

1年前期

科目名	単
○選択科目名	位
4専攻共通科目	数

解剖学Ⅱ	1	解剖学実習Ⅱ	2	解剖学実習Ⅲ	1
解剖学Ⅲ	1	生理学実習Ⅱ	1		
生理学Ⅱ	1	運動学	1	臨床運動学	1
人間発達学	1	運動学実習	1	動作解析学実習	1
13/12					
人体の構造と機能及び心身の発達					

病理学Ⅰ	1	○臨床神経学Ⅲ	1
精神医学Ⅰ	1	外科学概論	1
臨床神経学Ⅰ	1	老年期障害学	1
整形外科学Ⅰ	1	災害保健	1
臨床心理学	1		
薬と生体反応	1		
健康と栄養	1		
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 15+選択2 / 14			
病理学Ⅱ	1		
精神医学Ⅱ	1		
臨床神経学Ⅱ	1		
小児発達論	1		
内部障害学	1		

現代医療と生命倫理	1	国際保健	1
IPW概論	1		
保健学初年セミナー	1		
初期体験実習	1		
リハビリテーション概論	1		
保健医療福祉とリハビリテーションの理念 7/4			

作業療法概論	1	基礎作業学Ⅰ	1	基礎作業学実習Ⅱ	1
作業療法理論	1	統計学	1		
基礎作業療法学 8/5					
作業療法基礎	1	身体障害作業療法学	1		
精神保健作業療法学Ⅰ	1				
作業療法治癒学 19+選択1 / 19					

身体障害作業療法学実習Ⅱ	1	身体障害作業療法学実習Ⅰ	1	身体障害作業療法学実習Ⅱ	1
精神保健作業療法学Ⅱ実習	1	精神保健作業療法学Ⅰ実習	1	精神保健作業療法学Ⅱ	1
○精神障害リハビリテーション論	1	生活技術論	1	リハビリテーション工学+福祉用具学	1
生活技術論実習	1				
リハビリテーション工学+福祉用具学実習	1				
老年期障害作業療法学	1				
作業療法評価学 6/5					
画像診断概論	1	身体障害作業療法学実習Ⅰ	1	身体障害作業療法学実習Ⅱ	1
身体障害作業療法学実習Ⅰ	1	発達障害作業療法学実習Ⅰ	1		
精神障害作業療法学実習Ⅰ	1				
発達障害作業療法学	1				
地域作業療法学 4/4					
保健医療福祉論	1	職業・社会リハビリテーション	1		
保健行政論	1				
作業療法フェイワード実習	1				

臨床実習Ⅰ	1	作業療法管理Ⅱ	1
臨床実習 25/22			
臨床実習Ⅰ	1	作業療法管理Ⅰ	1
臨床実習Ⅱ	2	作業療法管理Ⅱ	1
臨床実習Ⅲ	2		
臨床実習Ⅳ(通年)	9		
臨床実習Ⅴ(通年)	2		
作業療法総合実習 1			

専門基礎分野

専門分野

・医学部保健学科(看護学専攻)では、本学科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

能力	1年次				2年次				3年次				4年次	
	1Q	2Q	3Q	4Q	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
自ら主体的に学習する態度とそれに必要な能力	情報基礎 健康・スポーツ科学実習Ⅱ	情報科学1 キャリア科目	情報科学2 キャリア科目	情報科学2 キャリア科目	研究ゼミナール 看護学概論	研究ゼミナール 看護学概論	研究ゼミナール 看護学概論	研究ゼミナール 看護学概論	研究ゼミナール 看護学概論	研究ゼミナール 看護学概論	研究ゼミナール 看護学概論	研究ゼミナール 看護学概論	研究ゼミナール 看護学概論	研究ゼミナール 看護学概論
他の分野の人々と協働して課題解決にあたる能力	IPW概論 初階級実習 現代医療と生命倫理	基礎教養科目 総合教養科目	基礎教養科目 総合教養科目	基礎教養科目 総合教養科目	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学
豊かな人間性と倫理観を有し、患者の思いを察し、柔軟性・当事者性を身に付けた看護専門職となるための基礎的能力	外国語第1 Advanced English	情報基礎 健康・スポーツ科学実習Ⅱ 力学基礎1 生物学概論B1 現代医療と生命倫理 初階級実習 IPW概論	生物学各論C1 看護学概論 力学基礎2 生物学概論B2 現代医療と生命倫理 初階級実習 IPW概論	生物学各論C2 看護学概論 力学基礎2 生物学概論B2 現代医療と生命倫理 初階級実習 IPW概論	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール
人間性と倫理性														
ひととして、看護専門職者として生涯達成していく能力	外国語第1 Advanced English 情報基礎 健康・スポーツ科学実習Ⅱ 力学基礎1 生物学概論B1 現代医療と生命倫理 初階級実習 IPW概論	基礎教養科目 総合教養科目 力学基礎2 生物学概論B2 現代医療と生命倫理 初階級実習 IPW概論	基礎教養科目 総合教養科目 力学基礎2 生物学概論B2 現代医療と生命倫理 初階級実習 IPW概論	基礎教養科目 総合教養科目 力学基礎2 生物学概論B2 現代医療と生命倫理 初階級実習 IPW概論	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール	臨床心理学 ひとと生活 看護援助 看護実践基礎実習(援助関係) 検査 母性看護学 老年看護学 メンタルヘルズ論 研究ゼミナール





カリキュラム・マップ

・医学部保健学科(検査技術科学専攻)では、本学科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

科目名 医学部 保健学科(検査技術科学専攻)

創設性	1年次				2年次				3年次				4年次	
	1Q	2Q	3Q	4Q	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人間性と倫理性	身につけるべき能力													
	自ら主体的に学習する態度とそれに必要な能力	情報基礎 健康・スポーツ科学実習基礎 キャリア科目 キャリア科目 キャリア科目	情報科学1 キャリア科目	情報科学2 キャリア科目										
	他の分野の人々と協働して課題解決に取り組む能力	現代医療と生命倫理 IPW概論 保健学部卒後セミナー 初期体験実習 臨床検査概論												
	医療チーム・研究チーム、教育チームの一員として卓越した人間性を備え、高い倫理観にもとづいた行動により、社会の第一線で活躍しうる臨床・研究・教育活動の能力		基礎教養科目 総合教養科目 環境・食品・産業衛生学 検査管理総論	公衆衛生学 基礎教養科目 解剖学実習I 公衆衛生学実習										
創造性	複眼的に思考する能力													
	進取の気風と問題解決に力する柔軟な個性を身につけ、社会に貢献できる新たな技術や機器開発に取り組み能力		基礎教養科目 基礎教養科目 総合教養科目	統計学 生理学実習I 生化学実習I 生化学II 一般検査学演習										



カリキュラム・マップ

部局名 医学部 保健学科 理学療法専攻

・医学部保健学科(理学療法専攻)では、本学科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

科目IDに おける 学習目標	身につけるべき 能力	1年次		2年次		3年次		4年次		
		1Q	2Q	3Q	4Q	前期	後期	前期	後期	
人間性と倫理性 豊かな人間性と 保健医療における 倫理的行動に基づき 自己の役割を認識し 多職種連携の重要性を 理解し、専門職として 臨床に携わる能力 他の分野の人々と 協働して課題解決に 取り組む能力	情報基礎	情報科学1	情報科学2							
	健康・スポーツ科学実習基礎	キャリア科目	キャリア科目							
	保健学初年次セミナー					国際保健	災害保健 リハビリテーション工学・福祉用具学		IPW統合演習	
		基礎教養科目		臨床心理学	国際保健		臨床実習II	移植管理学	IPW統合演習	
		総合教養科目		精神医学 I		保健行政論	臨床実習III	理学療法研究法演習	卒業研究	
				臨床実習 I		保健医療福祉論	理学療法研究法			
	専門的に働き 得る能力 標準的心理学概 念の理解と長所 を分析し、旺盛 な好奇心と情通 を駆使して問題 を解決し、解決 するに際し、決 断力と責任感 を備え、その 理学療法とその 関連分野の未 来を創造する能 力	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目
		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
基礎教養科目		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
先人の知識を尊 重し、基礎、臨床 研究を通してエ ビデンスを創造 する能力		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	
	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	



学修目標	1年次				2年次				3年次				4年次			
	1Q	2Q	3Q	4Q	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
<p>身につけるべき能力</p> <p>異なる文化の人々と外国語で意思疎通し合える能力を養育する。多分野に亘る協働的学習能力を養育する。多分野に亘る協働的学習能力を養育する。</p> <p>多様な地域課題を把握し、貢献する。国際性・異文化理解能力を養育する。国際性・異文化理解能力を養育する。</p> <p>地域性・国際性</p>	外国語Ⅰ	外国語Ⅱ	外国語Ⅲ	外国語Ⅳ	保健医療英語	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習		
	総合科目															
	基礎教養科目															
	総合教養科目															
	基礎教養科目															
	総合教養科目															
	基礎教養科目															
	総合教養科目															
	基礎教養科目															
	総合教養科目															
<p>理学療法士の職業と役割を認識し、自己啓発的学習能力を養育する。基礎的学習能力</p> <p>理学療法士の職業と役割を認識し、自己啓発的学習能力を養育する。基礎的学習能力</p> <p>専門性と協働</p>	外国語Ⅰ	外国語Ⅱ	外国語Ⅲ	外国語Ⅳ	保健医療英語	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習	グローバリヘルスフィールド演習		
	総合科目															
	基礎教養科目															
	総合教養科目															
	基礎教養科目															
	総合教養科目															
	基礎教養科目															
	総合教養科目															
	基礎教養科目															
	総合教養科目															

カリキュラム・マップ

郵便名 医学部 保健学科 作業療法専攻

・医学部保健学科(作業療法専攻)では、本学科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

期間DPIにおける学習目標	1年次				2年次				3年次				4年次			
	10	20	30	40	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
<p>自ら主体的に学習を進め、自ら課題を設定し、自ら必要能力を身に付けるべき能力</p> <p>他の分野の人々と協働して課題解決にあたる能力</p> <p>作業療法専門職としての意欲的な人間性、豊かな人間性、多様な文化・価値観を尊重し、社会の発展に積極的に参画する能力</p> <p>物理学的基礎 初級体験実習</p> <p>現代医療と生命倫理</p> <p>作業療法基礎</p> <p>リハビリテーションの基礎</p> <p>作業療法概論</p> <p>保健学初年次ゼミナール</p>	情報基礎	情報科学1	情報科学2	情報科学2												
	健康・スポーツ科学実習 応用	キャリア科目	キャリア科目	キャリア科目												
	保健学初年次ゼミナール				国際保健											
		基礎教養科目	精神医学Ⅰ		国際保健											
		総合教養科目	精神医学Ⅱ		国際保健											
			臨床実習Ⅰ		精神障害リハビリテーション論											
			臨床心理学		臨床実習Ⅱ											
					身体障害作業療法概論											
					精神障害作業療法概論											
					精神障害作業療法概論											
					作業療法研究法											
					作業療法研究法											
	<p>人間の健康と生活倫理</p> <p>作業療法基礎</p> <p>リハビリテーションの基礎</p> <p>作業療法概論</p> <p>保健学初年次ゼミナール</p> <p>基礎教養科目</p>															
基礎教養科目		精神医学Ⅰ														
総合教養科目		精神医学Ⅱ														
		臨床実習Ⅰ														
		臨床心理学														
<p>人間の健康と生活倫理</p> <p>作業療法基礎</p> <p>リハビリテーションの基礎</p> <p>作業療法概論</p> <p>保健学初年次ゼミナール</p> <p>基礎教養科目</p>																
	基礎教養科目	精神医学Ⅰ														
	総合教養科目	精神医学Ⅱ														
		臨床実習Ⅰ														
		臨床心理学														





## 全学共通授業科目に関する内容

# 全学共通授業科目履修案内(令和4年度入学者用)

※ 専門科目など全学共通授業科目以外の履修については、開講学部の掲示等で確認してください。

## 1. 全学共通授業科目の基本事項

### 1.1 全学共通授業科目とは

全学共通授業科目とは、本学の教学規則に定める授業科目のうち、基礎教養科目・総合教養科目・外国語科目・情報科目・健康・スポーツ科学および専門教育の準備や導入となる共通専門基礎科目などの全学部に通ずる授業科目をいいます。全学共通授業科目の企画・運営は、教養教育院が行っています。

### 1.2 全学共通授業科目の履修について

#### 1.2.1 授業期間・授業日程・授業時間

##### ・授業期間

1年間で2学期に分け、4月～9月を「前期」、10月～3月を「後期」とし、前期・後期の授業期間をそれぞれ半分に分けた、各8週の授業期間を「クォーター」と呼びます。前期には第1・第2クォーター、後期には第3・第4クォーターがあります。第○クォーターを「○Q」と略して表記することがあります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏休み		第3クォーター		第4クォーター		春休み	

##### ・授業日程

授業日程は、教養教育院 HP>「新入生の方へ」のページ>「令和4年度全学共通授業科目授業予定表」に PDF ファイルを掲載しています。

##### ・授業時間

授業は下記の時間帯に実施します。

授業時間は1コマ90分、1クォーターあたりの授業期間は8週間で実施します。

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
授業時間	8:50～	10:40～	13:20～	15:10～	17:00～	18:50～
	10:20	12:10	14:50	16:40	18:30	20:20

\* 専門科目等各学部で行われる授業については異なる場合があります。

##### ・定期試験

定期試験は、各学期・各クォーターの最終週の1週間でいきます。定期試験は、通常授業とは異なる曜日・時間帯で実施する場合がありますので注意してください。なお、追試験は原則として行いませんが、急病・忌引き等により定期試験を受験できなかった場合、所定の手続きを期限までに行えば、追試験の受験を認めることがあります。

#### 1.2.2 全学共通授業科目の履修計画の立て方・登録の進め方

学部で定められている履修に関するルールを理解する

・卒業するために修得すべき単位(※1)数、履修可能な科目、各科目を履修する学年・学期、履修登録できる単位数の上限(※2)等について、所属学部の「学生便覧」で確認しましょう。

時間割表・シラバス(※3)・「全学共通授業科目の履修について」をもとに、全学共通授業科目

・時間割表等をもとに、必修科目が開講される曜日・時限を確認しましょう。  
→必修科目・選択必修科目・選択科目は、学部毎に定められています。所

<p>の履修計画を立てる</p> <p>* 履修登録できる総単位数は各学部で上限が決まっています(CAP 制)。詳細は各学部の学生便覧などを確認してください。</p>	<p>属学部の「学生便覧」で確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間割表等をもとに、その学期に履修する<u>選択必修科目・選択科目</u>を考えます。</li> <li>・授業科目の内容は、うりぼーネット(※4)のシラバスで確認できます。</li> <li>・<u>原則として、所属する学部・学科等により指定された曜日・時限の授業科目(学部指定開講枠)を履修しますので、時間割表等で確認してください。</u></li> <li>・<u>科目によっては、学籍番号等により受講するクラスが指定されていることがありますので、時間割表で確認してください。</u></li> <li>・同一授業科目は、曜日・時限が異なる場合でも重複して履修できません。</li> <li>・<u>科目により履修登録の方法が異なりますので、各科目の履修登録方法をよく確認してください。</u></li> </ul>
<p>抽選登録(※5)を行う (1年次1Q科目は抽選登録を行いません。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽選登録期間中に<u>うりぼーネット</u>で抽選登録を行います。</li> <li>・基礎教養科目・総合教養科目は抽選登録の対象です。 ただし、基礎教養科目「データサイエンス基礎学」については、1年次1Q～3Qに各学部指定曜日時限で「履修登録」にて登録となります。なお4Q開講の本科目は、<u>未修得者対象枠</u>のため抽選登録を予定しています。</li> <li>・<u>基礎教養科目・総合教養科目は、1年次2Q科目から抽選登録が可能になります。</u></li> <li>・抽選登録期間は、下記のページで発表されています。 <a href="http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/green/study/index.html">http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/green/study/index.html</a></li> </ul>
<p>履修登録(※5)を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修登録期間中に<u>うりぼーネット</u>で履修登録を行います。</li> <li>・履修登録期間は、学期開始前に発表されます。(以下ページを参照) <a href="http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/green/study/index.html">http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/green/study/index.html</a></li> </ul>
<p>その他の方法で登録を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各科目の指示に従ってください。</li> </ul>
<p>「履修登録一覧(提出用)」または「履修科目一覧表」を提出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修する科目をすべて登録し終わったら、所属学部の指示に従って、「履修登録一覧(提出用)」または「履修科目一覧表」を提出期限までに所属学部の教務担当係へ提出してください。</li> </ul>
<p>履修取消(※5)を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽選登録又は履修登録を行った科目を、途中で受講を中止する場合は、履修取消期間中にうりぼーネットで履修取消を行うことができます。なお、履修取消しても、その科目は履修登録単位の上限に含まれます。</li> <li>・履修登録期間は、以下のページで発表されます。 <a href="http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/green/study/index.html">http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/green/study/index.html</a></li> </ul>

全学共通授業科目の授業の実施方法は、各科目のシラバスや BEEF (神戸大学学修支援システム) に掲載します。初回授業当日には BEEF へのアクセスが集中することが予想されます。必ず初回授業の前日までに各科目の情報を確認し、必要なものはあらかじめ自分のパソコンにダウンロードしましょう。

また、遠隔授業に関する URL やパスワードは個人で保管し、SNS 等で公表はしないでください。

なお、履修登録が BEEF に反映されるのは、履修登録した日の翌日からです。つまり、初回授業の前々日までに履修登録を完了している必要があります。

全学共通授業科目の履修登録や抽選登録期間については『2.1 全学共通授業科目に関する通知』にて示す方法でアナウンスをします。特に、2Qの履修登録期間や、後期(3Q4Q)の各登録期間を間違える人が多くいます。登録期間内に登録を忘れた場合は、授業を履修することはできません。必ず各登録期間内に登録をしてください。

\*後期(3Q、4Q)の抽選登録期間は例年、夏休み期間に実施します。忘れないようにしてください。

## ▶ 用語の解説

### ※1 単位

授業科目の学修目標を達成するため、一定の基準に沿って必要な学修時間数が定められています。この時間数を単位といい、1単位は、授業と授業外の学修時間を合わせて合計45時間を要する内容であることを表します。単位数は科目により異なります。授業科目を履修し、学修目標を達成していると評価されれば、単位を修得できます。また、卒業の要件として学生が修得すべき単位数は各学部等において定められています。

### ※2 履修登録上限単位数

学期又は年間に履修登録できる単位数の上限が、学部・学科ごとに定められています。履修登録上限単位数は”CAP(キャップ)”とも呼びます。所属学部の「学生便覧」で具体的な単位数等を確認してください。

### ※3 シラバス

シラバスとは、各科目のテーマや授業計画、授業の概要等を確認することができる資料です。うりぼーネットのシラバスで内容を参照することができます。

### ※4 うりぼーネット

うりぼーネットとは神戸大学教務情報システムの愛称です。うりぼーネットの利用には、情報基盤センターが発行したアカウントが必要です。

### ※5 履修登録・抽選登録・履修取消

履修とは、ある科目を受講することです。履修するには、学生各自で科目を登録(履修登録)する必要があります。人数制限等のため抽選の上、履修登録する(抽選登録)場合もあります。途中で履修を中止する場合には、履修を取消することができます(履修取消)。

## ▶ 注意

- 大学側で事前登録を行う科目を除き、**学生自身が、指定された期間中に登録の手続きを行う必要があります。**
- 履修・抽選登録期間終了後に登録済みの科目を別の科目に変更することはできません。
- **登録間違いや登録もれのまま受講しても、単位を修得できません。**万一、登録間違いや登録もれに気付いた時は、速やかに所属学部の教務担当係に相談してください。



## 2. 全学共通授業科目に関する通知・窓口

### 2.1 全学共通授業科目に関する通知

全学共通授業科目に関する通知・連絡は、通常は、主に教養教育院掲示板(鶴甲第1キャンパスK棟1階)により通知を行います。必要に応じて、うりぼーネットの掲示板、教養教育院 WEB サイト(アドレスは下記枠内)を活用して通知を行う場合もありますので、日ごろから確認してください。(次頁の配置図参照)

**【注意】**掲示を見落として不利益を受けたとしても、大学は責任を負いません。

#### 2.1.1 履修・授業・試験等

主に教養教育院掲示板で連絡しますが、必要に応じて教養教育院のホームページやうりぼーネット掲示板にも併せて掲載する場合があります。K棟1階屋内の所属学部別掲示板には、特定の学部学生への連絡事項や所属学部からの連絡事項を掲示しています。

教養教育院 WEB サイト

<http://www.iphe.kobe-u.ac.jp/zengaku.htm>

学生向けポータルサイト うりぼーポータル

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/student.html>

(うりぼーポータルより教務情報システム「うりぼーネット」へ接続できます。)

#### 2.1.2 休講・補講

うりぼーネットの休講補講照会でお知らせします。

(ただし、各科目の BEEF で休講・補講について連絡することもあります。)

## 2.2 窓口

### 2.2.1 学務課共通教育グループ

全学共通授業科目に関すること全般(抽選登録、定期試験・再試験・追試験・留学に伴う繰り上げ試験)、教養教育院が管理する教室の使用に関すること、全学共通授業科目における授業中の事故、盗難、拾得物に関することについては、学務課共通教育グループ(鶴甲第1キャンパスK棟1階)で受け付けています。

**※進級・卒業・履修登録単位数の上限に関することは、所属学部の教務担当係に問い合わせてください。**

〈窓口業務時間〉 平日 8:30～11:30、12:30～17:00

※11:30～12:30は入室できません

★新型コロナウイルス感染の影響がある間は、極力事務室の訪問は控えてください。

全学共通授業科目に関する疑問点については、まず学生便覧や時間割、大学HPをよく調べ、それでもわからなければ、共通教育グループへ連絡してください。

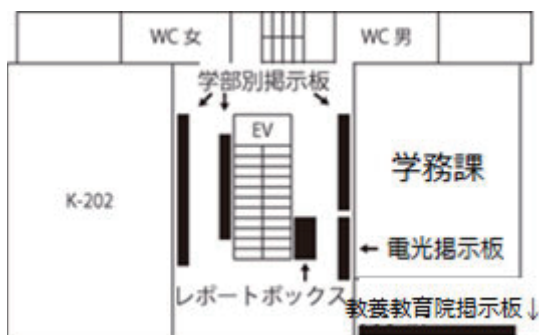
### 2.2.2 レポートの提出場所

全学共通授業科目のレポート提出は鶴甲第1キャンパスK棟1階のレポートボックスもしくはBEEFを活用した提出方法があります。各科目の授業中の指示に従い、期限までに提出をしてください。

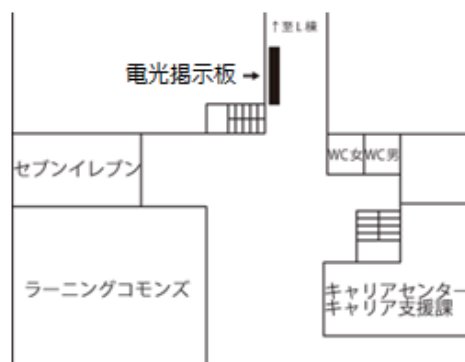
#### 【注意】

- ・レポートには提出期限が設けられています。提出期限を過ぎたレポートは、理由を問わず一切受領しません。
- ・回収後に意図的に投函されたレポートは無効とします。
- ・誤って他のレポートボックスに入れた場合はすぐに申し出てください。そのままですと、担当教員には届きませんので成績評価ができません。
- ・平日の夜間及び休日はK棟建物内へ立ち入ることはできません。

《K棟1階》



《A棟1階》



### 2.2.3 その他

共通教育グループから重要な連絡がある場合は、各自の学籍番号メールアドレス<sup>\*1</sup>(1年生第1クォーター開講の「情報基礎」授業内で設定をします。)に連絡をします。

\*1 …Google Workspace<sup>\*2</sup>のアカウントに配布されているメールアドレスではありません。

\*2 …Google Workspaceの詳細については、情報基盤センターHPを確認してください。

### 3. 令和4年度前期第1クォーター・第2クォーター全学共通授業科目の履修について(1年生向け)

#### 3.1 全学共通授業科目の授業開始日

★令和4年度前期の全学共通授業科目の授業は、4月11日(月)から行います。

詳細は、「令和4年度 全学共通授業科目授業予定表」を参照してください。

なお、所属学部専門科目の授業開始日は異なる場合があります。

#### 3.2 1年生の令和4年度前期開講科目の登録方法

令和4年度前期開講科目について、授業科目区分ごとの登録方法は下表のとおりです。

履修登録・抽選登録の期間については以下に掲載しています。

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/green/study/index.html>

##### 【注意】

- ・所属する学部・学科等により指定された曜日・時限の授業科目(所属学部・学科の時間割表に記載されている授業科目)を履修してください。
- ・登録が完了していない授業科目は受講しても単位を修得できません。

授業科目の区分等		履修登録方法
基礎教養科目		②
総合教養科目		(一部科目④)
外国語科目	外国語第Ⅰ	③
	外国語第Ⅱ	③
情報科目		「情報基礎」:③
健康・スポーツ科学		実習:④ 講義:②
共通専門基礎科目		① (一部科目④)

- ①履修登録(履修登録期間内に履修登録手続が必要です。)
- ②抽選登録(抽選登録期間内に抽選への応募が必要です。)
- ③事前登録(大学側で登録を行います。)
- ④その他の方法で履修者の選抜を行う科目

### 3.3 科目別注意事項

#### 3.3.1 基礎教養科目及び総合教養科目

登録方法:②抽選登録(一部の科目を除く)

【1次抽選】対象:配当学部・年次生のみ対象

#### 抽選登録の手順

(1)まず、自学部(学科)にどの曜日時限が割り当てられているか(※)確認します。

※所属する学部・学科等によって履修できる曜日・時限が決まっています。これを「学部指定開講枠」といいます。

具体的な曜日・時限は所属学部が配布する時間割表や、教養教育院 WEB ページ(下記)で確認しましょう。

<http://www.iphe.kobe-u.ac.jp/jimu/kvomu/iikanwari/index.html>

(2)シラバスで各科目の内容を確認し、希望順位を決めます。

(3)抽選登録期間にうりぼーネットの「抽選登録」から、希望順位を登録します。

抽選登録の応募方法については、うりぼーネットのマニュアルを確認してください。

[http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/uribo\\_net/uribo\\_info.html](http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/uribo_net/uribo_info.html)

\* 抽選登録応募期間であれば、応募の取消や応募順位を変更できます。詳細は、上記マニュアルを確認してください。

(4)自身が抽選登録した内容をうりぼーネットの「抽選申込内容確認」より確認します。

\* 注意 \*

・(3)登録手順で最後の「登録」ボタンを押さずに、『登録できたと思い込み、実際登録できていなかった』という事例がよくあります。登録した後は、必ず「抽選申込内容確認」から、応募できていることを確認してください！

(5)抽選結果発表日、うりぼーネット>「履修登録・登録状況照会」にて当選科目を確認してください。

この照会画面で登録されていれば、すでに登録が完了していますので、自分であらためて履修登録を行う必要はありません。

(注意)

●応募した曜日時限に科目が登録されていない場合は、以下の理由が考えられます。

・希望順位を登録したと思っていたが、正しく登録が完了できていなかった。

(このようなことがないよう、抽選登録期間中に(4)の確認を必ず行ってください。)

・応募したすべての科目が落選した。

(特に5限に開講される総合教養科目は、応募人数が多いため、落選する人数も多くなります。)

総合教養科目を修得する必要がある学生は、必ず学部指定開講枠の総合教養科目の抽選登録を行ってください。)

・応募した曜日時限にすでに別の科目が登録されていた。

(専門科目等と重複しないよう、よく確認してから応募してください。)

●原則として、決定された授業科目は変更できません。事前に専門科目等の時間割を確認した上で、抽選登録してください。

(変更しなければならぬ明確な理由が生じた場合は、所属学部の教務担当係に申し出てください。)

●抽選で登録された授業科目を必ず確認の上、受講してください。(登録できていない科目を受講していた場合や、同じ授業科目名であっても別の時間割コードの授業を受講していた場合、単位修得できません。)

- 複数の科目区分を同じ曜日・時限で抽選に応募すると、複数当選した場合に履修エラーとなります。事前に抽選に応募する科目区分を決定した上で、1つの曜日・時限に1科目区分のみ抽選登録を行ってください。

**【1次抽選】** 対象:各曜日時限で配当学部・年次の指定があります。時間割を確認してください。

**【2次抽選】** 対象:医学部および海洋政策科学部の学生 手順:基本的に1次抽選と同じ

- ・抽選結果の発表後、空き定員のある授業科目を対象に、うりぼーネットで「2次抽選」を行います。
- ・1次抽選で当選している科目からの変更は認められません。
- ・学部指定開講枠にかかわらず、すべての曜日・時限について抽選登録が可能です。  
ただし、すでに登録されている曜日・時限の抽選に応募しても、当選科目を登録することは出来ません。
- ・人数制限がありますので、抽選漏れとなり履修できない場合もあります。

**【3次抽選】** 対象:全学部生 手順:基本的に1次抽選と同じ

- ・2次抽選結果の発表後、空き定員のある授業科目を対象に、うりぼーネットで「3次抽選」を行います。
- ・学部指定開講枠にかかわらず、すべての曜日・時限について抽選登録が可能です。  
ただし、すでに登録されている曜日・時限の抽選に応募しても、当選科目を登録することは出来ません。
- ・1次抽選・2次抽選で当選している科目からの変更は認められません。
- ・人数制限がありますので、抽選漏れとなり履修できない場合もあります。

**登録方法:④その他の方法(一部の科目のみ)**

→該当する科目については、教養教育院 WEB サイトで周知します。登録方法の詳細も同サイトに掲載するのでよく確認してください。

### 3.3.2 外国語科目

#### 登録方法:③事前登録

(今後履修する選択科目は、履修登録・抽選登録などで登録します。各学期開始前に登録方法を確認してください。)

外国語のクラス番号は、所属学部ガイダンスで配布された資料もしくは、うりぼーネット“学籍情報”に記載されています。  
具体的にどの授業を履修するかは、以下の手順で確認してください。

- (1)外国語科目の時間割表で、クラス番号をもとに、どの時間割コードかを確認する。  
(外国語科目の時間割表は、[こちら](#)のページに掲載しています。)
- (2)うりぼーネットの履修状況の画面で、手順1で確認した時間割コードで正しく登録されているか確認する。

すでに事前登録されている科目は、自分で改めて履修登録する必要はありません。

(注意)

- ・必ず指定されたクラスで受講してください。
- ・外国語第Ⅱ科目(ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語)は入学時に決定した言語を履修することになります。履修が決定した言語以外を履修しても卒業要件単位に含まれません。
- ・原則として、大学側が事前登録した科目は変更できません。変更しなければならない明確な理由が生じた場合は、所属学部の教務担当係申し出てください。

事前登録 対象科目	外国語第Ⅰ科目 (英語)	Academic English Literacy, Academic English Communication
	外国語第Ⅱ科目 (ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語)	〇〇語初級 A1、B1、A2、B2 ※「〇〇語」は選択言語です。

#### ●外国語第Ⅰの英語特別クラス(後期開講)および英語外部試験に基づく単位授与

★令和4年度入学生の特別クラスおよび単位授与については、現在調整中です。今後、教養教育院や国際コミュニケーションセンターのWEBサイト等で確認してください。

### 3.3.3 情報科目

#### 登録方法:1年次前期の「情報基礎」は③事前登録

大学が事前登録していますので、アカウントを受け取った後、うりぼーネットの「履修登録・登録状況照会」で、登録されている科目を確認してください。

### 3.3.4 共通専門基礎科目(対象学部のみ)

#### 登録方法:

#### 《講義科目》→①履修登録

・所属する学部・学科等により、履修できる授業科目・曜日・時限が決まっています。

科目によっては、学籍番号などでさらに細かくクラスが指定されている場合がありますので、時間割を確認の上、正しいクラスにうりぼーネットに登録して下さい。

・**必ず第1クォーター及び第2クォーター両方の開講科目を履修登録期間中に登録してください。**

(履修登録漏れがあっても、履修登録期間終了後に追加登録を行うことはできません。)

#### 《実験科目》→基本的に①履修登録だが、科目によって教員への事前連絡等が必要なものがある。

・所属する学部・学科等により、履修できる科目・曜日・時限が決まっています。

・**必ず第1クォーター及び第2クォーター両方の開講科目を履修登録期間中に登録してください。**

(履修登録漏れがあっても、履修登録期間終了後に追加登録を行うことはできません。)

・履修登録の前に、担当教員への連絡などが必要な場合があります。

各科目の履修方法について必ず下記URLで確認してください。

物理学実験: <http://www.edu.kobe-u.ac.jp/iphe-butsumori/pr/>

化学実験: <https://www.edu.kobe-u.ac.jp/iphe-kagaku/index.html>

生物学実験: <http://www.edu.kobe-u.ac.jp/iphe-seibutu/>

地学実験: <https://www.edu.kobe-u.ac.jp/iphe-chikyuwakusei/>

### 3.3.5 健康・スポーツ科学

#### 登録方法:

#### 《実習科目》→④その他の方法

・所属する学部・学科等により履修できる曜日・時限が決まっています。

・初回授業はガイダンスを実施しますので、必ず出席してください。写真1枚(縦4cm×横3cm)を必ず持参のうえ、**鶴甲第1キャンパス第2体育館**に集合してください。

・初回授業のガイダンスで履修クラス(種目)を決定し、履修登録カードを提出します。ガイダンスで提出した履修カードにより大学側で履修登録を行います。

・健康・スポーツ科学実習基礎は、原則対面授業にて実施をします。詳細の内容は、教養教育院 HP にて案内しています。確認をしてください。

前期:教養教育院 HP 「新入生の方へ」ページ

後期:教養教育院 HP 「在学生の方へ」▶「履修について」ページ

#### 《講義科目》→②抽選登録

手順は基礎教養科目・総合教養科目の抽選登録と基本的に同じですが、2次・3次抽選は実施しません。

### 3.3.6 その他

\*後期全学共通授業科目の履修方法等については、教養教育院ウェブページにて案内をします。

\*抽選登録や履修登録について、よくある質問を教養教育院ウェブページに掲載しています。参考にしてください。

## 4. 全般的な注意事項

### 4.1 授業の欠席について

#### 4.1.1 通常の授業を欠席する場合

(対面授業の場合)

○欠席することがあらかじめ分かっている場合。(教育実習、介護等体験などを含む)

→事前の授業に出席した際、必ず担当教員に事情を説明してください。

・定期健康診断と全学共通授業科目が重複する場合は授業を優先し、他の日時で健康診断を受検してください。

○急性の病気、忌引き(配偶者、二親等以内の親族)、不慮の事故、公共交通機関の大幅な遅延等で当日急遽欠席する場合。

→翌週の授業に出席した際、必ず担当教員に事情を説明してください。

どちらのケースも、教員に事情を説明する際、必ず欠席の理由が証明できるもの(診断書など)を教員に直接提出してください。授業の内容により、欠席に対する配慮ができないことがあります。

・教員の連絡先について、事務では学生からの問い合わせに応じません。

・通常授業の欠席に対する配慮の可否については、授業担当教員が判断します。

・専門科目の実習や集中講義と全学共通授業科目が重複する場合は、全学共通授業科目を優先してください。

判断に困る場合は事前に共通教育グループに申し出てください。

(遠隔授業の場合)

対応は上記(対面授業の場合)と同じです。

★メール等で教員に連絡する場合は、必ず自身の所属・学籍番号・氏名・連絡事項を適切に伝えるようにしてください。

【注意】 本学には「公欠」制度はありません。

・ただし、特例措置として学長が指定した自然災害に関するボランティア活動への参加による授業の欠席については公欠を願い出ることができますので、所属学部の教務学生担当係に申し出てください。

・病気や怪我などで2週間以上欠席する場合は「欠席届」を所属学部の教務学生担当係へ提出してください。(長期欠席を届け出る制度で、欠席に対する特別な配慮を届け出るものではありません。)

・裁判員制度により講義及び定期試験等をやむを得ず欠席する場合には、所属学部の教務学生担当係に申し出てください。

・課外活動については、正課(授業)が優先です。課外活動による欠席については、特別な配慮を行いません。(通常の欠席と同じ扱いになります。) なお、国際大会等に招集された場合は、学生支援課生活支援グループもしくは所属学部の教務学生担当係に相談してください。ただし、授業の性質上、配慮されない可能性もあります。

#### 4.1.2 定期試験を欠席する場合

追試験は原則行いません。ただし、急性の病気、忌引(配偶者、二親等内の親族)、不慮の事故、公共交通機関の運休又は大幅な遅延、大学の授業科目として行われる実習(対象となるかどうかについて事前にK棟事務室共通教育グループで確認すること)、その他やむを得ない事由による場合には、本人の願い出により、認められることがあります。

なお、協定に基づく留学をする学生または神戸大学の教育プログラム(海外で実施されるものに限る。)に参加する学生で、留学期間と全学共通授業科目の定期試験日が重なる場合は、定期試験の実施日の変更を認めることがあります。手続きの詳細については、「協定等に基づく留学に伴う全学共通授業科目の定期試験実施日の変更について」の掲示を、K棟掲示板又は[教養教育院 WEB サイト](#)にて確認して下さい。

★遠隔授業・対面授業にかかわらず、定期試験の欠席について、詳細については教養教育院 WEB サイトで「追試験について」の掲示を確認してください。



- 交通機関の運休や気象警報の発表、避難勧告・避難指示(緊急)・災害発生情報の発令時における授業・定期試験の休講措置については、K棟掲示板又は神戸大学WEBサイト内うりぼーポータルの次のページを参考にしてください。

「交通機関の運休、気象警報の発表、避難勧告・避難指示(緊急)・災害発生情報の発令時における授業、定期試験の休講措置」

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/green/access/index.html>

- ★「授業・定期試験の休講措置」のルールの上記サイトに掲載されますので、確認してください。

## 4.2 成績について

### 4.2.1 成績評価について

神戸大学の成績評価基準は、新入生ガイダンスで配付された学生便覧に掲載された「神戸大学共通細則」で定めています。授業科目ごとの学修目標、成績評価方法はシラバスで確認するとともに、初回授業内で担当教員から説明がありますので、不明な点がある場合は授業担当教員へ直接確認してください。

### 4.2.2 成績発表について

各クォーターにおいて成績発表日が決まっています。成績発表日にうりぼーネットの履修成績照会により、履修した授業科目の成績を確認することができます。成績発表日前に担当教員から学生への成績通知を行いません、また、学生からの成績照会には回答しませんのでご注意ください。なお、成績評価に対する申し立てを行うことができる制度がありますので、発表された成績に疑義がある場合にはこの制度を利用してください。

※各クォーターの成績発表日は、うりぼーポータル「授業／履修登録」カテゴリ内で確認することができます。学部によって、進級・卒業対象学生の発表日を変更していることがありますので、所属学部での掲示・通知を確認してください。

### 4.2.3 全学共通授業科目の成績評価に対する申し立てについて

履修した全学共通授業科目に関する成績評価について、当該授業科目の成績評価基準に照らして疑義がある場合は、成績評価について担当教員に説明を求めることができます。成績評価に対する申し立ては、成績評価の照会や評価の変更を願い出る制度ではありません。シラバスや授業内で示された学修目標・成績評価基準に照らし、成績評価に疑義を申し立てる正当な理由を有する場合にのみ、成績発表日から1週間以内に共通教育グループへ申し立ての事務手続きを行ってください。

### 4.2.4 不正行為について

全学共通授業科目の定期試験、成績を課すレポート(授業中に実施する小テスト・小テストなど、成績評価の対象となる試験・提出物を含む)等において、不正行為があった場合は、その学期(前期の場合は第1クォーター及び第2クォーター、後期の場合は第3クォーター及び第4クォーター)に履修した全学共通授業科目の成績がすべて無効となります。

○定期試験または授業中における試験において、試験時間中に次の行為を実行した場合は、不正行為と認定することがあります。

- (1) 定期試験において、受験のために許可された物品以外(筆箱、下敷き、パソコン及び携帯電話等の通信機器を含む)を机上、または机の中に置いていた場合。
- (2) 持ち込みを許可されていないノート、教科書、プリント等も同様。
- (3) 他人の答案を写す、または他人に答案を写させた場合
- (4) 受験者に代わって受験、または他人に代理受験を依頼した場合
- (5) 試験内容について私語を交わす、または試験を妨害した場合
- (6) 試験監督の指示に従わなかった場合
- (7) その他、試験の公正性を損なう行為や成績評価を妨げる行為を行った場合

○成績評価のために課すレポート等において、次の行為を実行した場合は不正行為と認定することがある。

- (1) 他人の作成したレポート等の内容を書き写す(内容の一部を書き換えた場合を含む)、または他人にレポートの内容を作成させた場合
- (2) 故意に他人に作成したレポートの内容を書き写させる、または他人に作成したレポート等を提供した場合
- (3) レポート等の作成において剽窃(他人の著作物の内容等について出典を明記せず、自分の作成した内容とする等)した場合
- (4) レポート等の作成においてデータや画像の改ざん、捏造を行った場合
- (5) その他、レポート等の公正性を損なう行為や成績評価を妨げる行為を行った場合

※授業中に提出する小テスト、小レポート等の代筆について、代筆を依頼した学生、依頼されて代筆を行った学生共に不正行為の対象となります。手の負傷等のやむを得ない事情がある場合は、事前に担当教員へ相談の上、指示に従ってください。

※レポート作成の際に不明な点がある場合は、担当教員に事前に確認の上、指示に従ってください。

★不正行為に関して、遠隔授業における注意点を追加で掲示する場合は、教養教育院 WEB サイトに掲載します。

### 4.3 パソコン必携

神戸大学では、高度情報化社会において情報通信技術の十分な活用能力を有する人材を育成し、それらの技術を活用した教育の提供を目的に、パソコンの必携化を実施しました。

パソコンのスペックや注意事項については、以下の URL を確認してください。

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/green/pcmust/index.html>

## 5. 全学共通授業科目の理念

### 5.1 教養教育の目標

神戸大学は、「学理と実際の調和」という開学以来の教育方針の下、教育憲章に示された「人間性」「創造性」「国際性」「専門性」を高める教育を実施するとともに、各学部がグローバル化に対応した様々な教育プログラムを開発してきた。このようなプログラムに参加する学生だけではなく、全ての学生を、自ら地球的課題を発見しその解決にリーダーシップを発揮できる人材へと育成することが学士課程の課題である。

そこで、全学部学生を対象とする教養教育において、神戸大学の学生が卒業時に身につけるべき共通の能力を「神戸スタンダード」として明示し、その修得を教育目標とする。

#### 神戸スタンダード

##### ➤複眼的に思考する能力

専門分野以外の学問分野について基本的なものの考え方を学ぶことを通して複眼的なものの見方を身につける

##### ➤多様性と地球的課題を理解する能力

多様な文化、思想、価値観を受容するとともに、地球的課題を理解する能力を身につける

##### ➤協働して実践する能力

専門性や価値観を異にする人々と協働して課題解決にあたるチームワーク力と、困難を乗り越え目標を追求し続ける力を身につける

### 5.2 全学共通授業科目の学修目標

#### ・基礎教養科目

基礎教養科目は、人文系、社会科学系、生命科学系、自然科学系の4つの分野の科目より開講している科目から、自分が所属する専門分野以外の主要な学問分野について基本的な知識及び「ものの見方」を学び、理解することを目的とし、以下の区分毎に学修目標を定める。

#### (1) 人文系

人文系としては「哲学」、「論理学」、「倫理学」、「心理学」、「教育学」を開講する。「哲学」は人間の知的営みの蓄積であり、受講者には自身の専門領域がいかにか古代から現代にいたる思想に依拠しているかを理解することが求められる。「論理学」は、あらゆる分野で必要とされる推論、論証の基礎に関わる学問であり、受講者には自身の専門分野でも活用可能な論理的思考能力を身につけることが求められる。「倫理学」では、実社会でも通用する高い倫理観を身につけることが求められる。「心理学」は心のはたらきに関する実証的な研究を行うとともに、心の発達を明らかにし、さまざまな発達段階での心の問題の解決を支援する分野である。「心理学」の受講者には、人間の心のはたらきについてその応用可能性を含めた理解をすることが求められる。「教育学」では、知性・技能・情意等の授受という営みについての基本的理解と、教育行為が現代においてはたす意義について理解することが求められる。

#### (2) 社会科学系

自己の属する様々なレベルの〈社会〉に対する、科学的かつ複眼的思考と理解とを養うことを目的として、「法学」、「政治学」、「経済学」、「経営学」、「社会学」、「教育社会学」、「地理学」を開講する。「法学」では複雑化する現代社会において主体的市民として生きるための法学の知識・方法・理論を学ぶ。「政治学」では能動的な政治的主体に求められる、政治を知りそれを生きる知識・理論・方法を学ぶ。「経済学」では、ミクロ・マクロの様々な経済問題を理解するのに必要な基本的概念や分析枠組の習得を目指す。「経営学」では、企業・組織を中心に、経済社会の現場で発生する多様な経営課題に対する取り組みを、経営学の視点から学ぶ。「社会学」では、領域横断的かつ相対的な社会学のものの見方とその有用性を示す。「教育社会学」では、教育と社会との関係を社会学的に分析することによって、学校教育がいかにか現代社会とのかかわりが深いのか、またどのような役割を果たしているかを示す。「地理学」においては、その基本概念や発展動向を踏まえ、その実証的・理論的両側面を学ぶ。

#### (3) 生命科学系

全ての生物にとってかけがえのない〈命〉は、今日の進歩した生命科学技術の下、そのメカニズムが新たに解明される一方で、病気などはまだ不明な部分も多い。本分野では、生命に対する複眼的思考を養うことを目的として、人類を初め地球

環境に暮らす多様な生命体の仕組みと、我々が生きていく上で必要な健康管理まで、基礎から臨床医学までを学ぶ。「生物学」では、生物の多様性、遺伝子、細胞の構造から機能まで、生物に関する基本的な知識や考え方を学ぶ。「医学」では、主要な病気の早期発見や早期治療ができるように、医学に関する基本的な知識や考え方を学ぶ。「保健学」では、感染症の予防など、体調を管理して病気を防ぐことができるように、保健学に関する基本的な知識や考え方を学ぶ。「健康科学」では、健康な生活を過ごすために必要な生活習慣を身につけることができるように、健康科学に関する基本的な知識や考え方を学ぶ。

#### (4)自然科学系

高度に科学技術の発達した現代社会に対応する複眼的思考を養うことを目的として、本分野では、我々を取り巻く自然現象や社会現象が我々にどのように関わりを持つかについて、自然科学の観点と切り口から学ぶ。「数学」では、数理的思考における基本的な知識や考え方を学ぶ。「物理学」では、19世紀までに確立された古典物理学、あるいは、20世紀に構築された現代物理学の基本的な知識や考え方を学ぶ。「化学」では、分子にまつわる徹視的な内容に関して、あるいは、物質の性質など化学の基本的な知識や考え方を学ぶ。「惑星学」では、惑星および諸天体、宇宙における地球、あるいは、惑星の姿や変動現象について、惑星学の基本的な知識や考え方を学ぶ。「情報科学」では、コンピュータやスマートフォンなど、これらの身近な機器に利用されている情報技術の歴史や仕組み、最近の活用事例を知るとともにデータの処理・分析の基礎知識を学ぶ。

### ・総合教養科目

総合教養科目は、多文化に対する理解を深め、多分野にまたがる課題を考え、対話型の講義を取り入れるなどの工夫により、複眼的なものの見方、課題発見力を養成することを目的とし、以下の区分毎に学修目標を定める。

#### (1)多文化理解

グローバル化の進展に伴い、現代では異文化間の交流が一層深化し、同時に、異文化に対する理解不足が深刻な不和を招来しかねない状況が現出している。

この科目群では、こうした現代世界の状況を的確に把握するとともに、多文化共生のあり方を模索するのに必要な知識を獲得し、思考力を養成することを目標とする。

より具体的には、多様な時代と地域の、歴史、社会構造、伝統、宗教、芸術を扱い、これらを通じて異文化に関する知識を獲得するとともに、比較文化的観点から分析することにより、異文化との共生につながる多面的な思考力を養う。

#### (2)自然界の成り立ち

私達を取り巻く自然界には様々な現象が存在し、日々変化している。これら自然界の様々な事象を、私達は体験を通して、関わりを持ちつつ理解している。しかし、多くが未解明であり、今後の研究の進展に負う面も大きい。従って、自然界の様々な事象を理解し解明していくためには、私達が自然愛を持って能動的に対応し、自然界を良く理解することが重要である。

この科目群では、私達の身近な現象として触れることの多い事象、例えば、科学技術と倫理の問題、現代物理学が描く世界像や身近な物理法則、自然界に見られるカタチにまつわる諸問題、ものづくりと科学技術における工学的な技術や将来展望、生命科学として身体の構造と機能の関係、生物資源と農業の今日までの関わりとその特徴、さらには昆虫や微生物との相関、などを取り上げ、私達の日常の問題として理解し、生活の中に取り込んで修得することを目標とする。

#### (3)グローバルイシュー

社会のグローバル化にともない、わたしたちは、国や地域の境界を越えて地球規模での解決が必要なさまざまな課題に直面している。この科目群では、これらの課題について理解を深め、その解決に指導的役割を果たす人材となるための基礎能力を身につけることを目標とする。

環境問題は、いうまでもなく地球規模の問題であり、自然科学と人文・社会科学の双方から幅広く接近する必要がある。また、人権、ジェンダー、政治や法制度、経済、ビジネスなど、わたしたちの生活に直結する問題領域も、いまや一国だけでは対処することが困難であり、地球規模の視点から取り組んでいくことが求められている。さらに、エネルギー資源・エネルギー技術や発電技術、都市安全技術などの科学技術の応用の考え方や社会における応用の実例についても、地球規模の視点から捉えることで最先端の技術動向を把握することが可能となる。

#### (4)ESD

この科目群では、〈地球〉を枠組みとした新しい教育運動であるESD(持続可能な開発のための教育)の本質と方法的な特徴を理解し、経済・社会システムの変更や人間のライフスタイルの変化を引き起こすために、われわれが、何を考え、何を変えなければいけないのかを考究する。個人主義的な教育観から小集団・構築主義的な教育観への変更、単一専門性

幻想から共同的専門性へのパラダイムの転換など、これまでの常識をくつがえすための方法論を探究してゆく。学生・教員・学外者が、社会的活動やフィールドワークでの協働作業を通して、実践現場にふれながら、新しい動きとしてのESDに〈タッチ〉することが目標である。

#### (5) キャリア科目

現在、大学生には就職活動を始めるときに初めてキャリアについて考えるのではなく、入学時から卒業後・修了後のキャリアについて考え、深めていくことが求められている。この科目群では、実社会でのボランティアを通じて、あるいは実社会で活躍するOB/OG等社会人の講演を通じて、自己のキャリアに関して、またキャリアとは何かという問いそのものに関して考え、深めていききっかけを掴み、将来に向けて備える能力を高めることを目標とする。

#### (6) 神戸学

この科目群では、我々の神戸大学が立地する神戸市・兵庫県、瀬戸内海等の歴史と現状に関する理解を深める、あるいは神戸大学そのものに関する理解を深めることを通じて、これからの学生生活を過ごすことになるキャンパス、地域についての理解と関心を深め、学生生活をより有意義にするとともに地域社会と大学とのかかわりについて理解することを目標とする。

#### (7) データサイエンス

ICT(情報化技術)の著しい進化により、インターネット等を通じて様々な情報が瞬時にやり取りされる時代となり、それらの情報はデータとして蓄積され、ビッグデータと呼ばれている。データサイエンスは、現在、様々な分野において、これらのデータの蓄積を処理・分析し、新しい価値を生み出すための新しい学問である。数学・統計学、情報科学・情報工学におけるデータ処理・分析の技術や、データから如何に有益な情報・価値を引き出すかという点において研究・実践が進展している。

この科目群においては数学・統計学、情報科学・情報工学におけるデータの処理・分析の基礎を身に着けるとともに、各専門分野におけるデータサイエンスの応用事例、社会との関わりを学び、データサイエンスの本質、汎用性そして問題点を理解することを目標とする。それらを発展させ、自らの専門分野や、社会における様々な分野において、課題を発見し、それを様々なデータを通じて解決するための基礎的能力を涵養することも目標とする。

### ・外国語科目

#### (1) 外国語第Ⅰ

グローバル社会の主要な共通言語(リンガ・フランカ)となっている英語について、その運用能力を向上させるとともに、国際コミュニケーションを成り立たせている諸要素への理解を深めることを目標とする。開設科目のうち、**Academic English Communication** と **Academic English Literacy** では、聞く力と話す力、読む力と書く力に重点を置きながら、それぞれ4技能を統合した指導を行い、学術研究で要求される英語力の基礎を総合的に涵養する。また、**Advanced English** では、各自のニーズに応じた各種の英語技能の向上を目指す。

#### (2) 外国語第Ⅱ

グローバル化があらゆる分野にまで浸透し、人びとを取り巻く多文化状況が日常化してきた今日、英語プラスもう一つの外国語の基礎的な学力と教養を身に付けることが必要である。そこでドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語のうち、一つの語学を選択し、1年次では、発音・文法・語彙・文章表現などの初級レベルの基礎的修得を目指す。2年次では、より高度な文法事項の理解や読解力・表現力などの中級レベルの習得を目指す。3年次では、多様なトレーニングを通して、社会・文化背景などの知識を身につけながら、実践的な運用能力をさらに向上させることを目指す。

### ・情報科目

コンピュータなどの情報機器とネットワークにおけるコミュニケーションが必須とされる高度情報化社会において、学生はコミュニケーション技術や情報処理、情報収集・発信技術など有効な情報機器の利用方法を学ばなければならない。また、変化の激しい情報化社会に対応するためにはコンピュータやネットワークに関する普遍的な基礎概念と実践的な知識を同時に理解しておく必要がある。情報科目はコンピュータの操作技術を取得し、情報とその取り扱いに関する正しい判断力を養い、それらを日常生活や社会活動に活用できる能力を身につけることを目指す。

### ・健康・スポーツ科学

健康・スポーツ科学は、身体と健康・運動に関する学問を学際的な視野のもとで総合化した新しい総合人間科学である。健康・スポーツ科学では、講義と実習を通して、身体運動と人体の機能・能力との関わりについての知識、安全で効果的かつ効率のよい身体運動について、及び生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための知識と実践能力を修得することを

目標とする。

・共通専門基礎科目

専門教育を受けるための準備や導入として、複数の学部に通ずる基礎科目を開講している。各学部で行われる専門教育では、専門分野ごとそれぞれの性質に合わせた系統的そして累積的な知識と技術の修得が不可欠である。そこで、共通専門基礎科目では、専門科目を理解し修得するための基礎となる知識や技術を身につけ、基礎的な理論を理解し、学問的なものの見方を養うことを目標とする。

## 全学共通授業科目におけるG P Aの取扱いについて

(令和3年度入学者から適用)

(平成24年5月31日 運営協議会決定)  
最終改正 令和2年11月26日  
適用年月日 令和3年4月1日

### 1. G P A対象科目について

全学共通授業科目は、「情報基礎」、「Advanced English Online 1」、「Advanced English Online 2」、「物理学入門」、「総合科目Ⅰ、Ⅱ」及び資格免許取得のために履修する「日本国憲法」を除き、全てG P A対象科目です。

(別表参照)

### 2. G P A計算方法について

全学共通授業科目は、全学の「G P Aの取扱い」に準じて計算を行いますが、以下の授業科目については取扱いが異なります。

#### (1) 基礎教養科目・総合教養科目

基礎教養科目・総合教養科目は、当該学期に履修したすべての授業科目の成績がG P A計算式に算入されます。

また、過去に「不可」の成績がある場合は、新たに科目を履修することにより、当該成績の合格・不合格にかかわらず、1科目につき、同授業科目区分の同単位数の1科目の過去の「不可」の成績がG P A計算式から除外されます。過去の「不可」の授業科目と新たに履修した授業科目は、同一でなくても構いません。

なお、過去に「不可」の成績となった一つの授業科目の単位数が2単位以上の場合は、新たに同授業科目区分の同単位数分の科目を履修することにより、過去の「不可」の成績がG P A計算式から除外されます。

#### (2) 健康・スポーツ科学（健康・スポーツ科学講義A, B, C）

健康・スポーツ科学講義A, B, Cは、当該学期に履修したすべての授業科目の成績がG P A計算式に算入されます。

また、過去に「不可」の成績がある場合は、新たに科目を履修することにより、当該成績の合格・不合格にかかわらず、1科目につき、同授業科目区分の同単位数の1科目の過去の「不可」の成績がG P A計算式から除外されます。過去の「不可」の授業科目と新たに履修した授業科目は、同一でなくても構いません。

### 3. 履修取消について

- ・やむを得ない事情により、履修取消期間外に手続きが必要な場合は、所属する学部の教務担当係に申し出てください。所属学部から当該学生の履修取消依頼があれば、履修の取り消しができます。
- ・集中講義については、講義最終日の前日までとします。(別途、掲示等により指示します。)

(別表)

(基礎教養科目, 総合教養科目)

授業科目の区分等		授業科目	単位	GPA対象	備考	
人文系	哲学	哲学	1	○		
	心理学	心理学A	1	○		
		心理学B	1	○		
	論理学	論理学	1	○		
	教育学	教育学A	1	○		
		教育学B	1	○		
	倫理学	倫理学	1	○		
	社会科学系	法学	法学A	1	○	
			法学B	1	○	
		政治学	政治学A	1	○	
政治学B			1	○		
経済学		経済学A	1	○		
		経済学B	1	○		
経営学		経営学	1	○		
社会学		社会学	1	○		
教育社会学	教育社会学	1	○			
地理学	地理学	1	○			
生命科学系	医学	医学A	1	○		
		医学B	1	○		
	保健学	保健学A	1	○		
		保健学B	1	○		
		健康科学A	1	○		
		健康科学B	1	○		
	生物学	生物学A	1	○		
		生物学B	1	○		
		生物学C	1	○		
	自然科学系	数学	数学A	1	○	
数学B			1	○		
数学C			1	○		
数学D			1	○		
物理学		物理学A	1	○		
		物理学B	1	○		
化学		化学A	1	○		
		化学B	1	○		
		化学C	1	○		
		化学D	1	○		
惑星学	惑星学C	1	○			
	惑星学D	1	○			
情報科学	情報学A	1	○			
	情報学B	1	○			
総合教養科目	教育と人間形成	教育と人間形成	1	○		
	文学	文学A	1	○		
		文学B	1	○		
	言語科学	言語科学A	1	○		
		言語科学B	1	○		
	芸術と文化	芸術と文化A	1	○		
		芸術と文化B	1	○		
	日本史	日本史A	1	○		
		日本史B	1	○		
	東洋史	東洋史A	1	○		
		東洋史B	1	○		
	アジア史	アジア史A	1	○		
		アジア史B	1	○		
	西洋史	西洋史A	1	○		
		西洋史B	1	○		
考古学	考古学A	1	○			
	考古学B	1	○			
芸術史	芸術史A	1	○			

(1) 多文化理解	美術史	芸術史B	1	○	
		美術史A	1	○	
	科学史	美術史B	1	○	
		科学史A	1	○	
		科学史B	1	○	
	社会思想史	社会思想史	1	○	
	文化人類学	文化人類学	1	○	
	現代社会論	現代社会論A	1	○	
		現代社会論B	1	○	
	越境する文化	越境する文化	1	○	
生活環境と技術	生活環境と技術	1	○		
カタチの文化学	カタチの文化学	1	○		
(2) 自然界の成り立ち	科学技術と倫理	科学技術と倫理	1	○	
	現代物理学が描く世界	現代物理学が描く世界	1	○	
	身近な物理法則	身近な物理法則	1	○	
	カタチの自然学	カタチの自然学A	1	○	
		カタチの自然学B	1	○	
	ものづくりと科学技術	ものづくりと科学技術A	1	○	
		ものづくりと科学技術B	1	○	
	生命科学	生命科学A	1	○	
		生命科学B	1	○	
	生物資源と農業	生物資源と農業A	1	○	
生物資源と農業B		1	○		
生物資源と農業C		1	○		
生物資源と農業D		1	○		
(3) グローバリゼーション	環境学入門	環境学入門A	1	○	
		環境学入門B	1	○	
	社会と人権	社会と人権A	1	○	
		社会と人権B	1	○	
	男女共同参画とジェンダー	男女共同参画とジェンダーA	1	○	
		男女共同参画とジェンダーB	1	○	
	グローバルリーダーシップ育成基礎演習	グローバルリーダーシップ育成基礎演習	2	○	
	EU基礎論	EU基礎論	1	○	
	国際協力の現状と課題	国際協力の現状と課題A	1	○	
		国際協力の現状と課題B	1	○	
政治と社会	政治と社会	1	○		
社会生活と法	社会生活と法	1	○		
国家と法	国家と法	1	○		
現代の経済	現代の経済A	1	○		
	現代の経済B	1	○		
経済社会の発展	経済社会の発展	1	○		
地球史における生物の変遷	地球史における生物の変遷	1	○		
生物の環境適応	生物の環境適応	1	○		
人間活動と地球生態系	人間活動と地球生態系	1	○		
食と健康	食と健康A	1	○		
	食と健康B	1	○		
資源・材料とエネルギー	資源・材料とエネルギーA	1	○		
	資源・材料とエネルギーB	1	○		
(4) ESD	ESD基礎	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)	1	○	
	ESD論	ESD論(持続可能な社会づくり2)A	1	○	
		ESD論(持続可能な社会づくり2)B	1	○	
	ESD生涯学習論	ESD生涯学習論A	1	○	
		ESD生涯学習論B	1	○	
	ESDボランティア論	ESDボランティア論	1	○	



総合教養科目	(5) キャリア科目	企業社会論	企業社会論A	1	○	
			企業社会論B	1	○	
		職業と学び	職業と学び-キャリアデザインを考えるA	1	○	
			職業と学び-キャリアデザインを考えるB	1	○	
		社会基礎学(グローバル人材に不可欠な教養)	社会基礎学(グローバル人材に不可欠な教養)	2	○	
	ボランティアと社会貢献活動	ボランティアと社会貢献活動A	1	○		
		ボランティアと社会貢献活動B	1	○		
		グローバルチャレンジ実習	グローバルチャレンジ実習	1又は2	○	
	(6) 神戸学	神戸大学史	神戸大学史A	1	○	
			神戸大学史B	1	○	
		神戸大学の研究最前線	神戸大学の研究最前線A	1	○	
			神戸大学の研究最前線B	1	○	
		阪神・淡路大震災	阪神・淡路大震災A	1	○	
			阪神・淡路大震災B	1	○	
		地域連携	ひょうご神戸学	1	○	
			地域社会形成基礎論	1	○	
		海への誘い	海への誘い	2	○	
		瀬戸内海学入門	瀬戸内海学入門	2	○	
	(7) データサイエンス	データサイエンス入門	データサイエンス入門A	1	○	
データサイエンス入門B			1	○		
データサイエンス概論		データサイエンス概論A	1	○		
		データサイエンス概論B	1	○		

(外国語科目, 健康・スポーツ科学, 情報科目, 資格免許のための科目, その他必要と認める科目)

外国語科目	外国語第 I	Academic English Communication A1	0.5	○	
		Academic English Communication A2	0.5	○	
		Academic English Communication B1	0.5	○	
		Academic English Communication B2	0.5	○	
		Academic English Communication B1(選抜上級クラス)	0.5	○	
		Academic English Communication B2(選抜上級クラス)	0.5	○	
		Academic English Literacy A1	0.5	○	
		Academic English Literacy A2	0.5	○	
		Academic English Literacy B1	0.5	○	
		Academic English Literacy B2	0.5	○	
		Academic English Literacy B1(選抜上級クラス)	0.5	○	
		Academic English Literacy B2(選抜上級クラス)	0.5	○	
		Advanced English Online 1	0.5	対象外	合否評価
		Advanced English Online 2	0.5	対象外	合否評価
		Advanced English(海外研修)	1	○	
	外国語第 II	ドイツ語初級A1	0.5	○	
		ドイツ語初級A2	0.5	○	

外国語科目

外国語第 II	ドイツ語初級B1	0.5	○	
	ドイツ語初級B2	0.5	○	
	ドイツ語初級A3	0.5	○	
	ドイツ語初級A4	0.5	○	
	ドイツ語初級B3	0.5	○	
	ドイツ語初級B4	0.5	○	
	ドイツ語初級SA3	0.5	○	
	ドイツ語初級SA4	0.5	○	
	ドイツ語初級SB3	0.5	○	
	ドイツ語初級SB4	0.5	○	
	ドイツ語中級C1	0.5	○	
	ドイツ語中級C2	0.5	○	
	フランス語初級A1	0.5	○	
	フランス語初級A2	0.5	○	
	フランス語初級B1	0.5	○	
	フランス語初級B2	0.5	○	
	フランス語初級A3	0.5	○	
	フランス語初級A4	0.5	○	
	フランス語初級B3	0.5	○	
	フランス語初級B4	0.5	○	
	フランス語初級SA3	0.5	○	
	フランス語初級SA4	0.5	○	
	フランス語初級SB3	0.5	○	
	フランス語初級SB4	0.5	○	
	フランス語中級C1	0.5	○	
	フランス語中級C2	0.5	○	
	中国語初級A1	0.5	○	
	中国語初級A2	0.5	○	
	中国語初級B1	0.5	○	
	中国語初級B2	0.5	○	
	中国語初級A3	0.5	○	
	中国語初級A4	0.5	○	
	中国語初級B3	0.5	○	
	中国語初級B4	0.5	○	
	中国語初級SA3	0.5	○	
	中国語初級SA4	0.5	○	
	中国語初級SB3	0.5	○	
	中国語初級SB4	0.5	○	
	中国語中級C1	0.5	○	
	中国語中級C2	0.5	○	
ロシア語初級A1	0.5	○		
ロシア語初級A2	0.5	○		
ロシア語初級B1	0.5	○		
ロシア語初級B2	0.5	○		
ロシア語初級A3	0.5	○		
ロシア語初級A4	0.5	○		
ロシア語初級B3	0.5	○		
ロシア語初級B4	0.5	○		
ロシア語中級C1	0.5	○		
ロシア語中級C2	0.5	○		
外国語第 III	第三外国語(ドイツ語) T1	0.5	○	
	第三外国語(ドイツ語) T2	0.5	○	
	第三外国語(ドイツ語) T3	0.5	○	
	第三外国語(ドイツ語) T4	0.5	○	
	第三外国語(フランス語) T1	0.5	○	
	第三外国語(フランス語) T2	0.5	○	
	第三外国語(フランス語) T3	0.5	○	
	第三外国語(フランス語) T4	0.5	○	
情報科目	情報基礎	1	対象外	合否評価
	情報科学1	1	○	
	情報科学2	1	○	
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義A	1	○	

	健康・スポーツ科学講義B	1	○	
	健康・スポーツ科学講義C	1	○	
	健康・スポーツ科学実習基礎	1	○	
	健康・スポーツ科学実習1	0.5	○	
	健康・スポーツ科学実習2	0.5	○	
資格免許のための科目	日本国憲法1	1	対象外	
	日本国憲法2	1	対象外	
その他必要と認める科目	総合科目 I		対象外	
	総合科目 II		対象外	

	生物学各論E2	1	○	
	生物学実験1	1	○	
	生物学実験2	1	○	
	基礎地学1	1	○	
	基礎地学2	1	○	
	地学実験A	1	○	
	地学実験B	1	○	

(共通専門基礎科目)

共通専門基礎科目	心と行動	2	○	
	線形代数入門1	1	○	
	線形代数入門2	1	○	
	線形代数1	1	○	
	線形代数2	1	○	
	線形代数3	1	○	
	線形代数4	1	○	
	微分積分入門1	1	○	
	微分積分入門2	1	○	
	微分積分1	1	○	
	微分積分2	1	○	
	微分積分3	1	○	
	微分積分4	1	○	
	数理統計1	1	○	
	数理統計2	1	○	
	物理学入門	1	対象外	合否評価
	力学基礎1	1	○	
	力学基礎2	1	○	
	電磁気学基礎1	1	○	
	電磁気学基礎2	1	○	
	連続体力学基礎	1	○	
	熱力学基礎	1	○	
	量子力学基礎	1	○	
	相対論基礎	1	○	
	物理学実験基礎	1	○	
	物理学実験	2	○	
	基礎無機化学1	1	○	
	基礎無機化学2	1	○	
	基礎物理化学1	1	○	
	基礎物理化学2	1	○	
	基礎有機化学1	1	○	
	基礎有機化学2	1	○	
	化学実験1	1	○	
	化学実験2	1	○	
共通専門基礎科目	生物学概論A1	1	○	
	生物学概論A2	1	○	
	生物学概論B1	1	○	
	生物学概論B2	1	○	
	生物学概論C1	1	○	
	生物学概論C2	1	○	
	生物学概論D1	1	○	
	生物学概論D2	1	○	
	生物学各論A1	1	○	
	生物学各論A2	1	○	
	生物学各論B1	1	○	
	生物学各論B2	1	○	
	生物学各論C1	1	○	
	生物学各論C2	1	○	
	生物学各論D1	1	○	
	生物学各論D2	1	○	
	生物学各論E1	1	○	

## 科目ナンバリングの導入について

神戸大学では、各学部および研究科における教育課程の系統性、順次性及び科目の水準を明らかにし、学生の履修計画、学修活動の手助けとなるように、平成28年度の入学者対象のカリキュラムから、科目ナンバリングを導入しています。

### 1. 基本方針

各授業科目のナンバリングコードは、以下のとおり7桁の英数字で構成されます。

(例) L 1 H M 1 0 0

第1桁	第2桁	第3～第4桁	第5桁	第6～第7桁
アルファベット	数字	アルファベット	数字	数字
科目提供母体の部局	課程	学科、専攻等	科目のカテゴリー	科目のナンバー
別表1参照	1: 学士課程 2: 博士課程前期課程 3: 博士課程後期課程	別表1参照	別表2参照	別表3参照

別表1 (第1桁～第4桁)

1桁目	2桁目	3, 4桁目
(学部) M: 医学部	(学科) 1: 保健学科	(専攻) NS: 看護学専攻 MT: 検査技術科学専攻 PT: 理学療法学専攻 OT: 作業療法学専攻
H: 研究科	2: 前期課程 3: 後期課程	HS: 博士前期課程、博士後期課程共通

別表2 (第5桁) 医学部保健学科・保健学研究科における科目のカテゴリー

1	学	全学共通授業科目	初級レベルの科目
		専門授業科目	1年次の科目
2	士	全学共通授業科目	中級レベルの科目
		専門授業科目	2年次の科目
3	課	全学共通授業科目	上級レベルの科目
		専門授業科目	3年次の科目
4	程	全学共通授業科目	最上級レベルの科目 (卒業論文関連科目を含む)
		専門授業科目	4年次の科目
5		高度教養科目	
6	大学院課程	博士課程前期課程、博士課程後期課程の専門授業科目	特別研究以外の授業科目
7			特別研究

(参考：他部局等における科目のカテゴリー)

1	学 士 課 程	全学共通授業科目・専門授業科目	初級レベルの科目
2			中級レベルの科目
3			上級レベルの科目
4			最上級レベルの科目（卒業論文関連科目を含む）
5		高度教養科目	
6	大 学 院 課 程	博士課程前期課程、専門職学位課程の専門授業科目	博士課程前期課程、専門職学位課程の基礎科目
7			博士課程前期課程、専門職学位課程の発展科目（修士論文関連科目）
8		博士課程後期課程の専門授業科目	
0		卒業要件外の科目（教職科目等資格関連科目）	

別表3（第6桁～第7桁）

	6桁目	7桁目
学士課程	（卒業要件科目） 0：卒業要件外科目 1：卒業要件科目	（必須・選択科目） 1：必須科目 2：選択科目
大学院課程	00：特別研究 01：特講 02：演習 03：英語で実施している授業科目	

2. 科目ナンバリングの確認方法及び活用方法

- ・各授業科目のナンバリングコードは、学生便覧で確認してください。
- ・シラバス及び成績確認表でナンバリングコードを確認できる予定です。

3. 科目ナンバリング一覧表

別表5

(看護学専攻)

ナンバリングコード	授業科目名
M1NS111	保健学初年次セミナー
M1NS111	現代医療と生命倫理
M1NS111	IPW概論
M1NS111	初期体験実習
M1NS111	身体のしくみと働き I
M1NS111	看護学概論
M1NS211	身体のしくみと働き II
M1NS211	生化学
M1NS211	感染・免疫学
M1NS211	病理学
M1NS211	薬と生体反応
M1NS211	健康と栄養
M1NS211	臨床心理学
M1NS211	保健行政論
M1NS211	統計学
M1NS211	ひとと生活
M1NS211	看護援助論

M1NS211	生活援助技術演習
M1NS211	病い論
M1NS211	メンタルヘルス論
M1NS211	地域看護学概論
M1NS211	研究ゼミナール
M1NS211	看護実践基盤実習(援助関係)
M1NS211	身体のおくみと働きⅢ
M1NS211	解剖学演習
M1NS211	感染看護論
M1NS211	疾病の成り立ちと治療Ⅰ
M1NS211	疾病の成り立ちと治療Ⅱ
M1NS211	疾病の成り立ちと治療Ⅲ
M1NS211	疾病の成り立ちと治療Ⅳ(こども)
M1NS211	疾病の成り立ちと治療Ⅴ(精神)
M1NS211	公衆衛生学
M1NS211	援助過程論
M1NS211	治療援助技術演習
M1NS211	老年看護学Ⅰ
M1NS211	母性看護学概論
M1NS211	地域看護活動論
M1NS211	看護実践基盤実習(生活援助)
M1NS211	地域・在宅看護実習Ⅰ
M1NS311	周産母子健康障害論
M1NS311	症状マネージメント論
M1NS311	保健医療福祉論
M1NS311	慢性期看護学
M1NS311	慢性期看護学演習
M1NS311	治療・回復期看護学
M1NS311	治療・回復期看護学演習
M1NS311	老年看護学Ⅱ
M1NS311	小児看護学
M1NS311	精神看護論
M1NS311	母性看護学
M1NS311	フィジカルアセスメント演習
M1NS311	在宅看護学概論
M1NS311	家族看護学
M1NS311	看護研究方法論
M1NS311	看護実践展開実習Ⅰ(成人)
M1NS311	看護実践展開実習Ⅰ(老年)
M1NS311	看護実践展開実習Ⅰ(小児・家族)
M1NS311	看護実践展開実習Ⅰ(母性)
M1NS311	看護実践展開実習Ⅰ(精神)
M1NS412	クリティカルケア論
M1NS412	新生児健康障害論
M1NS412	治療的コミュニケーション論
M1NS411	在宅看護論
M1NS411	在宅看護展開論
M1NS412	セルフヘルプ論
M1NS411	卒業研究
M1NS411	看護実践展開実習Ⅱ(成人)

M1NS411	地域・在宅看護実習Ⅱ
M1NS411	統合看護実習
M1NS412	看護情報学
M1NS412	看護政策論
M1NS412	看護管理論
M1NS202	保健医療英語
M1NS202	グローバルヘルスフィールド演習
M1NS511	国際保健
M1NS511	災害保健
M1NS511	IPW統合演習
M1NS511	緩和ケア論

(検査技術科学専攻)

ナンバリングコード	授業科目名
M1MT111	現代医療と生命倫理
M1MT111	保健学初年次セミナー
M1MT111	初期体験実習
M1MT111	IPW概論
M1MT111	解剖学Ⅰ
M1MT211	解剖学実習Ⅰ
M1MT211	免疫学
M1MT111	生理学Ⅰ
M1MT211	生理学実習Ⅰ
M1MT211	一般検査学演習
M1MT211	分子生物学概論
M1MT211	病態栄養学
M1MT412	栄養機能学
M1MT211	公衆衛生学
M1MT211	公衆衛生学実習
M1MT311	保健行政論
M1MT211	環境・食品・産業衛生学
M1MT211	統計学
M1MT311	医療システム論
M1MT311	医療情報処理学
M1MT211	臨床医学総論Ⅰ
M1MT211	臨床医学総論Ⅱ
M1MT311	臨床検査医学Ⅰ
M1MT311	臨床検査医学Ⅱ
M1MT411	検査情報解析学
M1MT411	検査情報解析学演習
M1MT111	生化学Ⅱ
M1MT211	生化学実習Ⅰ
M1MT211	臨床化学
M1MT311	臨床化学実習Ⅰ
M1MT311	放射性同位元素検査技術学
M1MT311	遺伝子・染色体検査学
M1MT211	臨床免疫学
M1MT311	臨床免疫学実習Ⅰ
M1MT211	臨床細菌学
M1MT311	臨床細菌検査学

M1MT311	臨床細菌検査学実習 I
M1MT311	ウイルス検査学
M1MT311	ウイルス検査学実習
M1MT211	臨床生理学
M1MT211	生理機能検査学
M1MT311	臨床生理学実習 I
M1MT311	総合画像診断学
M1MT311	画像診断解析学
M1MT211	生体情報計測学
M1MT311	生体情報計測学実習
M1MT211	臨床血液学
M1MT311	臨床血液学実習 I
M1MT211	病理学 I
M1MT211	病理学 II
M1MT311	病理組織細胞学
M1MT311	病理組織細胞学実習 I
M1MT311	寄生虫検査学
M1MT311	寄生虫検査学実習
M1MT211	検査管理総論
M1MT311	検査統合実習
M1MT311	臨床検査実践論
M1MT211	機器分析学
M1MT111	臨床検査概論
M1MT411	臨床血液学実習 II
M1MT411	臨床免疫学実習 II
M1MT411	臨床細菌検査学実習 II
M1MT411	臨床生理学実習 II
M1MT411	臨床化学実習 II
M1MT411	病理組織細胞学実習 II
M1MT411	原書講読
M1MT412	国際情報検索
M1MT412	移植管理学
M1MT212	薬と生体反応
M1MT311	遺伝子・染色体検査学実習
M1MT311	医療安全管理学
M1MT311	医療安全管理学演習
M1MT311	臨床検査技能演習
M1MT411	卒業研究
M1MT202	保健医療英語
M1MT202	グローバルヘルスフィールド演習
M1MT512	国際保健
M1MT512	災害保健
M1MT511	IPW統合演習
M1MT512	国際感染症論

(理学療法学専攻)

ナンバリングコード	授業科目名
M1PT311	保健行政論

M1PT311	保健医療福祉論
M1PT211	臨床実習Ⅰ
M1PT311	臨床実習Ⅱ
M1PT311	臨床実習Ⅲ
M1PT311	臨床実習Ⅳ
M1PT411	臨床実習Ⅴ
M1PT411	移植管理学
M1PT311	理学療法研究法
M1PT411	理学療法研究法演習
M1PT411	卒業研究
M1PT111	現代医療と生命倫理
M1PT111	保健学初年次セミナー
M1PT111	初期体験実習
M1PT111	IPW概論
M1PT212	生化学
M1PT111	解剖学Ⅱ
M1PT211	解剖学実習Ⅱ
M1PT211	解剖学実習Ⅲ
M1PT111	解剖学Ⅲ
M1PT312	臨床解剖学実習
M1PT111	生理学基礎
M1PT111	生理学Ⅱ
M1PT211	生理学実習Ⅱ
M1PT211	生理学Ⅲ
M1PT111	人間発達学
M1PT211	運動学
M1PT211	臨床運動学
M1PT211	運動学実習
M1PT211	動作解析学実習
M1PT211	臨床心理学
M1PT211	病理学Ⅰ
M1PT211	病理学Ⅱ
M1PT211	内部障害学
M1PT211	整形外科学
M1PT211	臨床神経学Ⅰ
M1PT211	精神医学Ⅰ
M1PT311	外科学概論
M1PT211	小児疾病論
M1PT211	臨床神経学Ⅱ
M1PT211	薬と生体反応
M1PT211	健康と栄養
M1PT111	リハビリテーション概論
M1PT111	理学療法概論
M1PT211	理学療法評価学
M1PT211	理学療法評価学実習
M1PT311	理学療法総合評価学
M1PT311	筋・骨格系障害理学療法学
M1PT311	筋・骨格系障害理学療法学実習
M1PT311	内部障害理学療法学実習
M1PT311	神経系障害理学療法学



M1PT311	神経系障害理学療法学実習
M1PT211	統計学
M1PT211	画像診断解析学
M1PT211	運動治療学
M1PT211	運動治療学実習
M1PT211	日常生活活動学
M1PT211	日常生活活動学実習
M1PT211	物理治療学
M1PT311	物理治療学実習
M1PT211	義肢装具学
M1PT311	義肢装具学実習
M1PT311	内部障害理学療法学
M1PT311	発達障害理学療法学
M1PT311	生活環境学
M1PT411	スポーツ医学
M1PT311	老年期障害学
M1PT411	地域理学療法学
M1PT411	理学療法地域医療実習
M1PT411	理学療法管理学
M1PT212	地域看護学概論
M1PT311	実践理学療法学
M1PT202	保健医療英語
M1PT202	グローバルヘルスフィールド演習
M1PT511	国際保健
M1PT511	災害保健
M1PT511	IPW統合演習
M1PT511	リハビリテーション工学・福祉用具学

(作業療法学専攻)

ナンバリングコード	授業科目名
M1OT111	保健学初年次セミナー
M1OT111	現代医療と生命倫理
M1OT111	初期体験実習
M1OT111	IPW概論
M1OT111	リハビリテーション概論
M1OT111	作業療法概論
M1OT111	解剖学Ⅱ
M1OT111	解剖学Ⅲ
M1OT111	生理学基礎
M1OT111	生理学Ⅱ
M1OT111	人間発達学
M1OT111	作業療法理論
M1OT111	作業療法基礎
M1OT211	解剖学実習Ⅱ
M1OT211	生理学実習Ⅱ
M1OT211	生理学Ⅲ
M1OT211	運動学
M1OT211	運動学実習
M1OT211	病理学Ⅰ
M1OT211	整形外科学

M1OT211	臨床神経学Ⅰ
M1OT211	精神医学Ⅰ
M1OT211	基礎作業学
M1OT211	臨床実習Ⅰ
M1OT311	作業療法フィールド実習
M1OT211	解剖学実習Ⅲ
M1OT211	臨床運動学
M1OT211	動作解析学実習
M1OT211	病理学Ⅱ
M1OT211	内部障害学
M1OT211	小児疾病論
M1OT211	臨床神経学Ⅱ
M1OT211	臨床心理学
M1OT211	精神医学Ⅱ
M1OT211	画像診断解析学
M1OT211	基礎作業学実習Ⅰ
M1OT211	身体障害作業療法評価学
M1OT211	発達障害作業療法学
M1OT211	精神障害作業療法評価学
M1OT211	身体障害作業療法学
M1OT211	精神保健作業療法学Ⅰ
M1OT311	外科学概論
M1OT312	臨床神経学Ⅲ
M1OT211	薬と生体反応
M1OT211	健康と栄養
M1OT311	保健医療福祉論
M1OT311	保健行政論
M1OT211	統計学
M1OT311	基礎作業学実習Ⅱ
M1OT311	作業療法原書購読
M1OT311	作業療法研究法
M1OT311	身体障害作業療法評価学実習
M1OT311	発達障害作業療法学実習Ⅰ
M1OT311	精神保健作業療法学Ⅰ実習
M1OT311	精神保健作業療法学Ⅱ
M1OT311	老年期障害学
M1OT311	生活技術論
M1OT311	臨床前作業療法実習
M1OT311	身体障害作業療法学実習Ⅰ
M1OT311	身体障害作業療法学実習Ⅱ
M1OT311	発達障害作業療法学実習Ⅱ
M1OT312	精神障害リハビリテーション論
M1OT311	精神保健作業療法学Ⅱ実習
M1OT311	老年期障害作業療法学
M1OT311	生活技術論実習
M1OT311	リハビリテーション工学・福祉用具学実習
M1OT311	職業・社会リハビリテーション
M1OT311	臨床実習Ⅱ
M1OT311	臨床実習Ⅲ
M1OT311	作業療法学研究

M1OT411	臨床実習Ⅳ
M1OT411	臨床実習Ⅴ
M1OT412	スポーツ医学
M1OT411	作業療法統合実習
M1OT411	在宅援助論
M1OT411	作業療法管理学Ⅰ
M1OT411	作業療法管理学Ⅱ
M1OT202	保健医療英語
M1OT102	グローバルヘルスフィールド演習
M1OT511	国際保健
M1OT511	災害保健
M1OT511	IPW 統合演習
M1OT511	リハビリテーション工学・福祉用具学